

令和元年度 事業報告

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会

目 次

頁

会務報告

1 会員数	1
2 各種会議開催状況	1
3 各種委員等就任状況	4
4 会員の表彰	8
5 会員の物故	10
6 厚生労働省、日薬等の会議参加状況	10
会員の動向	12

事業報告

I 公益目的事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業	13
2 児童・生徒等に関する事業	20
3 医薬品適正使用に関する事業	22
4 医療安全に関する事業	30
5 公衆衛生に関する事業	32
6 地域医療に関する事業	36
7 災害時医療救護活動に関する事業	42

II 法人組織運営に関すること

1 総会、理事会等開催など	44
2 組織強化と財務の健全化	46
3 会員管理	48

III 共益事業

1 薬剤師の生涯学習の推進	50
2 リスクマネジメントシステムの充実	56
3 薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険の普及	57
4 会誌「薬壺」発行事業	57
5 会員向けホームページ、メールマガジンの充実	58

IV 収益事業

1 会議室等賃貸業	59
2 書籍等販売業	59
3 当保健センターの修繕等	59

神奈川県薬剤師研修協議会事業	60
----------------	----

参考資料

令和元年度会場利用状況	61
令和元年度用紙等販売・斡旋書籍販売実績	62
平成31年度神奈川県薬剤師会事業計画	63
平成31年度神奈川県薬剤師会事業体系図	64
令和元年度神奈川県薬剤師会各種委員会委員一覧	66
神奈川県薬剤師会組織図	67

会 務 報 告

1. 会員数 (令和2年3月31日現在)

	第1種会員	2,419人	(対前年 57人減 : うち資格喪失者4人)
会員総数 4,345人	第2種会員	1,595人	(" 63人減 : " 8人)
(対前年 155人減)	第3種会員	56人	(" 8人減 : " 3人)
	賛助会員	265人	(" 26人減 : " 5人)
	名誉・有功会員	10人	(" 1人減)

(P.12参照)

2. 各種会議開催状況

(1) 総 会 1回

①令和元年度通常総会

日 時 : 令和元年6月16日(日) 13:00~16:55

会 場 : 神奈川県総合薬事保健センター

出席者 : 出席者64名、委任状4名、書面表決3名、合計 71名

報告事項 : 報告第1号 平成30年度事業報告について

報告第2号 日本薬剤師会第92回臨時総会について

審議事項 : 議案第1号 平成30年度収支決算の承認について

議案第2号 代議員選挙管理委員会委員の指名について

賛成多数により原案通り承認することが決議された。

議案第3号 理事の選任について

議案第4号 監事の選任について

それぞれ候補者数が定数を超えないため、候補者をもって当選者とする
ことが賛成多数により決議され、選任された。

②令和元年度臨時総会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

日 時 : 令和2年3月8日(日)【中止】

会 場 : 神奈川県総合薬事保健センター

(2) 理事会 9回 (5/16, 6/16, 7/4, 9/26, 11/7, 12/19, 1/30, 2/27書面審議, 3/26)

(3) 常務理事会 23回 (4/4, 4/25, 5/9, 5/23, 6/6, 6/13, 7/4, 7/18, 8/1, 8/22, 9/5, 9/19, 10/3,
10/24, 11/7, 11/21, 12/5, 12/19, 1/9, 1/23, 2/6, 2/27, 3/19)

(4) 監査会 2回 (本監査5/14, 中間監査会11/14)

(5) 地域・職域薬剤師会 会長協議会 3回

開催日	講演内容等
第1回 (4/18)	意見交換「地域・職域薬剤師会における事業活動について」 横浜市、鶴見、港北区、川崎市、相模原市、三浦半島、鎌倉市、藤沢市、小田原 茅ヶ崎寒川、秦野市、大和綾瀬、伊勢原市、海老名市、座間市、県勤務、病診勤務 卸勤務 各薬剤師会

開催日	講演内容等
第2回 (7/25)	説明「神奈川県薬剤師会における各種委員会活動について」 総務、広報出版、生涯学習、医療・介護保険、公衆衛生・学薬、地域保健、 リスクマネジメント、倫理研修、学術大会実行、実務実習、災害対策検討 各委員会
第3回 (11/21)	社会保障の課題・薬機法改正と薬剤師業務 講師 安部 好弘 氏（公益社団法人日本薬剤師会副会長）
第4回 (2/20)	※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

(6) 委員会 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止・延期あり

- ①総務委員会 6回 (5/8, 7/17, 9/18, 10/30, 11/27, 1/22)
- ②広報出版委員会 7回 (4/3, 6/5, 7/30, 10/2, 12/4, 1/29, 2/5)
- ③生涯学習委員会 3回 (7/18, 10/24, 2/13)
 - ・研修企画・運営小委員会 5回 (4/19, 6/6, 9/5, 12/5, 2/5)
 - ・認定薬剤師認定小委員会 8回
(4/18, 6/20, 8/22, 9/19, 12/19, 1/23, 2/27ML, 3/23ML)
 - ・外部評価小委員会 0回 (延期)
- ④医療・介護保険委員会 4回 (8/1, 10/2, 11/14, 3/12)
 - ・在宅小委員会 2回 (4/25, 10/16)
 - ・調剤業務適正小委員会 1回 (4/25)
- ⑤公衆衛生・学薬委員会 4回 (5/9, 8/22, 10/4, 12/5, 3/5中止)
 - ・小委員会 2回 (4/20, 7/18)
- ⑥地域保健委員会 5回 (4/26, 8/2, 10/24, 12/5, 2/21)
- ⑦リスクマネジメント委員会 4回 (6/20, 7/18, 9/19, 2/6)
 - ・安全管理対策小委員会 1回 (9/4)
 - ・調剤事故対策小委員会 1回 (8/29, 3/5中止)
 - ・リスクマネジメント小委員長会 2回 (6/6, 9/5)
- ⑧倫理研修委員会 3回 (7/27, 10/30, 2/9)
- ⑨学術大会実行委員会 4回 (5/15, 7/17, 10/17, 12/5, 2/28中止)
- ⑩実務実習委員会 5回 (8/1, 9/5, 10/16, 12/18, 2/5)
- ⑪代議員選挙管理委員会 0回
- ⑫総会議事運営委員会 2回 (4/25, 1/23)
- ⑬医薬品適正使用検討委員会 0回
- ⑭災害対策検討委員会 1回 (9/26, 2/26中止)
- ⑮くすりと健康相談薬局運営協議会 4回 (4/4, 8/1, 10/10, 1/23)
- ⑯くすりと健康すこやかフェア実行委員会 2回 (6/12, 9/20)

(7) その他会議

- ①正副会長会 15回 (4/4, 5/9, 6/13, 6/20, 7/4, 8/1, 9/5, 10/3, 11/7, 11/21, 12/19, 1/9, 1/23, 2/27, 3/19)

②春秋会

日 時：令和元年7月11日（木）14:50～15:50

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

出席者：9名（名誉会員3名、有功会員1名、執行役員5名）

③日薬・県薬各委員等との意見交換会

日 時：令和元年9月3日（木）18:00～21:00

会 場：横浜ベイホテル東急

出席者：延べ63名（日薬委員14名、県薬委員・役員44名、外部委員5名）

④創立130周年記念事業WG打合せ会議 5回（5/20, 8/7, 9/10, 10/24, 12/6）

⑤新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG 3回（8/14, 10/9, 1/28, 3/17中止）

⑥倫理審査会 2回（5/28, 8/28, 2/26中止）

⑦委員長会議 2回（11/7, 12/2）

⑧県健康医療局との連絡会

日 時：令和2年2月7日（金）9:30～10:30

会 場：開港記念会館

出席者：24名（県健康医療局12名、県薬執行役員他12名）

⑨県薬務課との連絡会議

ア 第1回

日 時：令和元年10月28日（月）15:30～17:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

出席者：20名（県薬務課7名、県薬執行役員他13名）

イ 第2回

日 時：令和2年2月7日（金）10:30～11:30

会 場：開港記念会館

出席者：22名（県薬務課10名、県薬執行役員他12名）

⑩神奈川県総合薬事保健センター入居団体会議

日 時：令和元年11月1日（金）15:00～16:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

出席者：10団体

⑪会長賞等選考審査会

日 時：令和元年11月21日（木）16:20～16:25

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

出席者：10名（執行役員10名）

⑫薬業団体新年賀詞交換会

日 時：令和2年1月10日（金）15:00～16:30

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：123名（うち来賓黒岩知事ほか46名）

3. 各種委員等就任状況

《公的委員》

(R02.3.31現在)

No	審議会等名	委員	役職名	任命権者	関係部署
1	関東信越地方社会保険医療協議会神奈川部会	鵜飼会長	臨時委員	局長	関東信越厚生局
2	県医療審議会	鵜飼会長	委員	知事	医療課
3	県薬事審議会	鵜飼会長	副会長	知事	薬務課
4	県薬事審議会 薬物評価検討部会	鵜飼会長	会長	知事	薬務課
5	県自然環境保全審議会温泉部会	夏目理事	委員	知事	生活衛生課
6	県医療通訳派遣システム事業運営委員会	伊藤(啓)常務	委員	知事	国際課
7	かながわ地球環境保全推進会議	河野センター長	監事	知事	環境計画課
8	かながわ地球環境保全推進会議（県民部会）	石渡理事	推進委員	知事	環境計画課
9	県保健医療計画推進会議	橋本副会長	委員	知事	医療課
10	県保健医療計画推進会議 糖尿病連携検討部会	唐澤常務	委員	知事	医療課
11	県医療安全推進協議会	橋本副会長	委員	知事	医療課
12	県医療安全対策事業実行委員会	橋本副会長	委員	知事	医療課
13	県医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議	泉理事	委員	知事	医療課
14	県地域医療介護連携ネットワーク構築検討会議	後藤副会長	委員	知事	医療課
15	県災害医療対策会議	後藤副会長	委員	知事	健康危機管理課
16	県災害医療対策会議 災害時医療救護対策部会（医療救護体制部会）	後藤副会長	構成員	知事	健康危機管理課
17	県災害医療対策会議 災害時医療救護対策部会（ロジスティック部会）	寺師常務	構成員	知事	健康危機管理課
18	県エイズ対策推進協議会	伊藤(一)理事	運営委員	知事	健康危機管理課
19	新型コロナウイルス感染症に係る神奈川県感染症対策会議	橋本副会長	委員	知事	健康危機管理課
20	県医療費検討委員会	後藤副会長	委員	知事	医療保険課

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命 権者	関係部署
21	県国民健康保険運営協議会	後藤副会長	委員	知事	医療保険課
22	かながわ健康プラン21 推進会議及びがん克服 県民会議	小川副会長	委員	知事	健康増進課
23	医食農同源研究会〈漢方理解促進等検討部会委員も兼務〉	坂本理事	委員	知事	健康増進課
24	県アレルギー疾患対策推進協議会	伊藤(一)理事	委員	知事	健康増進課
25	県慢性腎臓病〈CKD〉対策連絡協議会	河野センター長	委員	知事	保健予防課
26	県慢性腎臓病〈CKD〉診療連携構築協議会	阿部理事	委員	知事	がん・疾病対策課
27	県献血推進協議会	唐澤常務	委員	知事	薬務課
28	県薬物乱用対策推進本部 本部会	鵜飼会長	本部員	知事	薬務課
29	県薬物乱用対策推進本部 青少年・啓発部会	高橋理事	部会員	知事	薬務課
30	県後発医薬品使用促進協議会	後藤副会長	委員	知事	薬務課
31	県認知症対策推進協議会	佐藤常務	委員	知事	高齢福祉課
32	県在宅医療推進協議会及び県地域包括ケア会議	佐藤常務	委員	知事	高齢福祉課
33	かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会	長津専務	委員	知事	高齢福祉課
34	県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止対策推進協議会	鵜飼会長	委員	会長	保健体育課
35	県学校給食特別優良学校現地審査会	山形理事	委員	知事	保健体育課
36	学校給食表彰審査会	山形理事	委員	知事	保健体育課
37	学校保健及び学校安全表彰(文部科学大臣表彰)に係る選考委員会	鵜飼会長	委員	知事	保健体育課
38	ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議	鵜飼会長	構成員	知事	オリンピック・パラリンピック課
39	「マイME-BYO カルテ」の災害活用に係る勉強会	後藤副会長	委員	知事	ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室
40	県国民健康保険診療報酬審査委員会	藤本 直樹 泉理事 佐藤常務 阿部理事 福嶋 仁 飯田 純一 依田 啓司	審査委員	理事長	国保連合会

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命 権者	関係部署
41	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部 診療報酬請求書審査委員会	長津専務 竹内常務 花島 邦彦	審査委員	支部長	診療報酬 支払基金
42	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部幹事会	鵜飼会長	参与	支部長	診療報酬 支払基金

《民間団体役員・委員等》

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命 権者	関係部署
43	(公社)日本薬剤師会	鵜飼会長	理事	—	日本薬剤師会
44	(公社)日本薬剤師会 議事運営委員会	小川副会長	委員	会長	日本薬剤師会
45	(公社)日本薬剤師会 代議員選挙管理委員会	伊藤(啓)常務	委員	会長	日本薬剤師会
46	(公社)日本薬剤師会 組織・会員委員会	山形理事	委員	会長	日本薬剤師会
47	(公社)日本薬剤師会 医療保険委員会	小川副会長	委員長	会長	日本薬剤師会
48	(公社)日本薬剤師会 薬価基準検討会	笠原 英城	委員	会長	日本薬剤師会
49	(公社)日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会	福島 紀子	委員	会長	日本薬剤師会
50	(公社)日本薬剤師会 地域医療・保健委員会	長津専務	委員長	会長	日本薬剤師会
51	(公社)日本薬剤師会 編集委員会	尾鳥 勝也	委員	会長	日本薬剤師会
52	(公社)日本薬剤師会 医薬品情報評価検討会	菅野理事	委員	会長	日本薬剤師会
53	(公社)日本薬剤師会 薬局製剤・漢方委員会	八木多佳子	委員	会長	日本薬剤師会
54	(公社)日本薬剤師会 生涯学習委員会	厚田幸一郎	委員	会長	日本薬剤師会
55	(公社)日本薬剤師会 薬学教育委員会	片山 周也	委員	会長	日本薬剤師会
56	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究倫理審査委員会	今井 澄江 竹内常務	委員	会長	日本薬剤師会
57	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究推進委員会	竹内常務	委員	会長	日本薬剤師会
58	(公社)日本薬剤師会 健康サポート薬局研修委員会	長津専務	委員	会長	日本薬剤師会
59	(公社)日本薬剤師会 薬局薬剤師部会	伊藤(啓)常務	幹事	会長	日本薬剤師会

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
60	(公社)日本薬剤師会 行政薬剤師部会	黒澤 淑子 香川 貴則	幹事	会長	日本薬剤師会
61	県立こども医療センター地域医療支援事業運営委員会	寺師常務	委員	総長	県立こども医療センター
62	県がん診療連携協議会 地域連携クリティカルパス部会	唐澤常務	委員	総長	県立がんセンター
63	県立保健福祉大学を支援する会	井上理事	理事	会長	県立保健福祉大学
64	県エイズ治療拠点病院等連絡協議会	稲葉理事	委員	会長	横浜市大付属病院
65	かながわ青少年社会環境健全化推進会議	鵜飼会長	委員	会長	県青少年課
66	県公衆衛生協会	鵜飼会長	理事	会長	県健康増進課
67	スモークフリー推進かながわ基金 運営委員	石渡理事	委員	会長	県がん対策課
68	薬物クリーンかながわ推進会議	鵜飼会長	会長	会長	県薬務課
69	薬物クリーンかながわ推進会議 運営委員会	小川副会長	委員	会長	県薬務課
70	薬物クリーンかながわ推進会議 広報委員会	唐澤常務	委員	会長	県薬務課
71	県立学校保健会	伊藤(一)理事	理事	会長	県立学校保健会
72	県学校保健連合会	鵜飼会長 小川副会長 唐澤常務 山形理事	副会長 理事 評議員 評議員	—	県学校保健連合会
73	県学校保健連合会 学校薬剤師部会	鵜飼会長	部会長	会長	県学校保健連合会
74	県学校保健連合会 健康手帳改訂委員会	伊藤(一)理事	委員	会長	県学校保健連合会
75	県社会福祉協議会第2・3種正会員連絡会	坂本理事	委員	会長	県社会福祉協議会
76	禁煙、受動喫煙防止を推進する神奈川会議	井上理事	副会長	会長	県予防医学協会
77	県医師会災害救助対策委員会	寺師常務	委員	会長	県医師会
78	県糖尿病対策推進会議 幹事会	唐澤常務	幹事	会長	県医師会
79	在宅医療トレーニングセンター運営協議会	井上理事	委員	会長	県医師会
80	県在宅歯科医療連携拠点運営事業推進協議会	山形理事	委員	会長	県歯科医師会

No	審 議 会 等 名	委 員	役職名	任命権者	関係部署
81	糖尿病医科歯科連携協議会	唐澤常務	委員	会長	県歯科医師会
82	県保険者協議会	小川副会長	委員	理事長	国保連合会
83	県保険者協議会 事業検討委員会	長津専務	委員	理事長	国保連合会
84	(公財)かながわ健康財団 評議員会	鵜飼会長	評議員	—	かながわ健康財団
85	(公財)かながわ健康財団 がん対策推進会議	伊藤(啓)常務	委員	理事長	かながわ健康財団
86	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会	高橋事務局長	委員	理事長	かながわ健康財団
87	がん克服シンポジウム実行委員会	寺師常務	委員	理事長	かながわ健康財団
88	(一財)北里環境科学センター 評議員会	竹内常務	評議員	—	北里環境科学センター
89	(一社)薬学教育評価機構 評価委員会	鵜飼会長 花島 邦彦	評価 実施員	理事長	薬学教育 評価機構
90	(一社)薬学教育協議会 関東地区調整機構 薬局小委員会	久保田理事	委員	委員長	薬学教育協議会 関東地区調整機構
91	(公社)薬剤師認定制度認証機構	小川副会長	社員	—	薬剤師認定制度 認証機構
92	在宅研修分科会（認知症対応力向上研修のあり 方に関する調査研究事業）	佐藤常務	委員	代表理 事	地域活性化共同 組合フロンティア
93	日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部	小川 亮子 寺師常務 嶋理事 小宮 賢一	副会長 幹事 幹事 監事	会長	県医師会

4. 会員の表彰

(1) 薬剤師会関係表彰

①神奈川県薬剤師会

ア 会長賞（個人）〔1/12〕

小林由紀子（川崎市幸区）

里見 孝史（相模原市）

清水 一恵（小田原市）

イ 会長賞（団体）〔1/12〕

公益社団法人神奈川県栄養士会

ウ 有功賞 〔1/12〕

小倉 和子（横浜市磯子区）

宮崎 美子（横浜市磯子区）

石川 将一（横浜市泉区）

大島 成五（藤沢市）

徳間 和男（厚木市）

大田 高久（横浜市西区）

蒔田 瑤（横浜市鶴見区）

伊藤美紀子（横浜市保土ヶ谷区）

渡辺美恵子（小田原市）	矢野 弘子（鎌倉市）
勝呂恭仁子（相模原市）	川名 清子（県勤務）
日比登志子（藤沢市）	佐野美佐子（横浜市旭区）
渡辺 邦夫（横浜市港南区）	

計15名

②日本薬剤師会

ア 有功賞〔伝達表彰1/12〕

足立 京子（小田原市）	江口 尚良（川崎市川崎区）
川上 慶子（大和市）	木村美代子（横浜市港南区）
佐々木武平（横須賀市）	清野 知生（横浜市港北区）
長野 曜子（小田原市）	永吉 浩子（鎌倉市）
蛭田 啓子（横浜市保土ヶ谷区）	福島 雄一（平塚市）
堀川 忠康（横浜市金沢区）	諸星 明美（横浜市西区）
山方 正枝（横浜市保土ヶ谷区）	

計13名

イ 有功賞（団体）

一般社団法人横浜市薬剤師会

（2）叙勲・大臣表彰

①死亡叙位

ア 正六位〔11/28〕

田中 英昭（藤沢市）

②叙勲

ア 旭日双光章〔秋〕

加藤 昇一（横浜市中区）

③褒章

ア 藍綬褒章〔秋〕

寺師三千彦（横浜市港南区）

④厚生労働大臣表彰

ア 薬事功劳〔10/21〕

佐藤 透（病診）

イ 公衆衛生事業功劳〔2/26〕

井上 雄一（横須賀市）

⑤文部科学大臣表彰〔11/26〕

ア 学校保健及び学校安全功劳

高橋 義和（川崎市川崎区）

（3）県知事表彰

①県民功劳者表彰〔6/20〕

寺師三千彦（横浜市港南区）

②保健衛生表彰〔11/20〕

ア 医療関係功劳者

伊藤 啓（川崎市宮前区）	荒木 稔（横浜市金沢区）
今井 英晴（藤沢市）	金子 弘之（川崎市幸区）
木村 重（横浜市保土ヶ谷）	田所由美子（相模原市）
堀口 雅巳（伊勢原市）	矢野 光恭（小田原市）

計 8名

(4) その他各種表彰

①学校保健功労者等表彰〔10/26〕

小泉由美子（横浜市瀬谷区）	岩出 信幸（川崎市多摩区）	
関根 寿樹（藤沢市）	栗山 景子（厚木市）	
小川原 悟（大和市）	山名 佳見（海老名市）	
伊藤 龍哉（厚木市）	相馬 滋子（平塚市）	
中西 聡（秦野市）	倉田 宏（小田原市）	計10名

②神奈川県公衆衛生協会会長表彰〔11/20〕

阿部 正隆（横浜市鶴見区）

③日本公衆衛生協会会長表彰〔2/26〕

長津 雅則（鎌倉市）

5. 会員の物故（報告分）

森井 淑子（横須賀市）	佐藤 恵子（横浜市港北区）	川上 茂樹（大和市）
斉藤 英譚（横浜市磯子区）	澄川 一尹（川崎市中原区）	尾田 美知（横浜市金沢区）
細川 圭一（横須賀市）	田中 英昭（藤沢市）	我妻 照男（横浜市港北区）
岩本 京子（横浜市港北区）		

6. 厚生労働省、日薬等の会議参加状況

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 関東ブロック協議会（第1回）〈神奈川〉	令和元年6月2・3日	鵜飼、後藤、小川、井上、唐澤、長津、伊藤（啓）、金丸
日薬 関東ブロック協議会（第2回）〈山梨〉	令和2年2月2・3日	鵜飼、後藤、小川、長津、寺師
日薬 関東・東京ブロック会議〈神奈川〉	令和元年11月17日	鵜飼、後藤、小川、橋本、長津、唐澤、伊藤（啓）、寺師、佐藤
日薬 都道府県会長協議会（第1回）	令和元年5月15日	橋本
日薬 都道府県会長協議会（第2回）	令和元年6月21日	後藤
日薬 都道府県会長協議会（第3回）	令和元年10月12日	小川
日薬 都道府県会長協議会（第4回）	令和2年1月15日	橋本
日薬 第93回定時総会	令和元年6月22・23日	後藤、小川、橋本、長津、唐澤
日薬 第94回臨時総会	令和2年3月14日	後藤、小川、橋本、長津、唐澤、竹内
日薬 薬局実務実習担当者全国会議	令和元年8月5日	久保田、木村
日薬 都道府県薬剤師会 アンチ・ドーピング活動担当者研修会	令和元年11月29日	小川、伊藤（啓）

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 実務実習受入れに関する 関東地区ブロック会議〈長野〉	令和元年12月11日	久保田、木村
日薬 薬剤師のかかりつけ機能強化に向けた全 国会議	令和元年9月1日	竹内、夏目、久保田
日薬 健康サポート薬局研修担当者全国 会議	令和元年9月20日	林
令和元年度かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者 協議会	令和2年2月3日	佐藤、夏目
日薬 成分から導き出す適切な OTC 医薬品の選 択方法研修会	令和元年11月7日	林
日薬 学校薬剤師部会全国担当者会議	令和2年2月20日	唐澤、山形
全国学校保健・安全研究大会	令和元年11月21日	伊藤（一）
調剤報酬改定等説明会	令和2年3月7日	藤本
オンラインシステム資格確認システム説明会	令和2年1月10日	伊藤（啓）、佐藤
関東信越厚生局管内10都県薬剤師会 社会保険担当者連絡協議会〈山梨〉	令和2年2月9日	鵜飼
薬剤師認定制度認証機構 定時社員総会	令和元年6月28日	小川
薬剤師認定制度認証機構 臨時社員総会	令和元年9月4日	小川
第23回認定薬剤師認証研修機関協議会	令和元年6月28日	小川、竹内、阿部
第24回認定薬剤師認証研修機関協議会	令和2年1月25日	小川、竹内、阿部、 久保田

会 員 の 動 向

<業 種 別 会 員 数>

(R02.3.31現在)

区分	薬 局				店 舗 販 売 業				その他(行政、病院、無職他)					合 計					
	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
H28年度	2,527	1,232	290	4,049	39	15	17	71	3	541	58	17	619	2,569	1,788	58	324	11	4,750
H29年度	2,481	1,206	267	3,954	38	16	14	68	2	512	61	32	607	2,521	1,734	61	313	10	4,639
H30年度	2,438	1,159	247	3,844	36	17	11	64	2	482	64	33	581	2,476	1,658	64	291	11	4,500
R01年度	2,385	1,108	220	3,713	33	14	7	54	1	473	56	38	568	2,419	1,595	56	265	10	4,345

[会員種別]

I 種 : 薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者または薬局・店舗販売業の管理者である薬剤師

II 種 : 第1種・第3種会員以外の薬剤師

III 種 : 満77歳以上の無職の薬剤師

賛 助 : 薬局・店舗販売業・卸売販売業の非薬剤師経営者

<入 会 者 ・ 退 会 者 数>

区分	入 会 者					退 会 者						差 引					
	I 種	II 種	III 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
H28年度	222	132	0	3	357	229	157	3	25	2	416	▲ 7	▲ 25	▲ 3	▲ 22	▲ 2	▲ 59
H29年度	220	96	0	10	326	243	155	3	34	1	436	▲ 23	▲ 59	▲ 3	▲ 24	▲ 1	▲ 110
H30年度	231	113	0	12	356	272	180	7	36	0	495	▲ 41	▲ 67	▲ 7	▲ 24		▲ 139
R01年度	211	111	0	12	334	276	162	11	39	1	489	▲ 65	▲ 51	▲ 11	▲ 27	▲ 1	▲ 155

●県内店舗数と会員店舗数比較

業 種	H31.3月	R2.3月		H30.3月	H31.3月	
	県内店舗数	会員店舗数	加入率		会員店舗数	加入率
薬 局	3,888	2,427	62.4%	3,836	2,489	64.9%
店舗販売業	1,461	39	2.7%	1,427	45	3.2%
卸売販売業	581	82	14.1%	583	81	13.9%
薬種商販売業	1	0	0.0%	1	0	0.0%
特例販売業	0	0	0.0%	0	0	0.0%
配置販売業	200	0	0.0%	215	0	0.0%
計	6,131	2,548	41.6%	6,062	2,615	43.1%

※県内店舗数は、令和元年度神奈川県薬務課発行『業務行政の概要(平成30年度末現在)』による。

●県内薬剤師数と会員数比較

業 種	H28.12月	R2.3月		H31.3月	
	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率	会員薬剤師数	加入率
薬 局	14,610	3,497	23.9%	3,602	24.7%
病院・診療所	3,430	98	2.9%	104	3.0%
大 学	127	23	18.1%	20	15.7%
医薬品販売業	2,380	131	5.5%	138	5.8%
行 政	410	43	10.5%	46	11.2%
その他業務	402	30	7.5%	30	7.5%
無 職	743	258	34.7%	269	36.2%
計	22,102	4,080	18.5%	4,209	19.0%

※県内薬剤師数は、H28.12/31現在の厚労省届出薬剤師数による。

※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数

I 公益目的事業

1. 薬学・薬業の進歩発展に関する事業

(1) かながわ薬剤師学術大会の開催

薬学の進歩発展及び医療水準の向上等のため、神奈川県病院薬剤師会との共催で、令和2年1月にパシフィコ横浜において18回目となる薬剤師学術大会を開催し、総勢1,267名の参加者のもと盛会に行われた。

特別公演は「地域フォーミュラの意義と方法」をテーマとし、前回大会から企画している分科会では、薬業連携、緩和医療での退院支援、薬史学から令和の薬局・薬剤師のあり方を考えるシンポジウムを実施した。県民向けの公開講座及びお薬相談・健康測定なども例年通り実施した。



〔第18回かながわ薬剤師学術大会〕

①会 期：令和2年1月12日（日）9:00～16:40

②会 場：パシフィコ横浜・会議センター

③テーマ：「いざ変革！2020～その先へ～」

④主 催：公益社団法人 神奈川県薬剤師会、公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

⑤後 援：神奈川県、横浜市

⑥特別講演：「地域フォーミュラの意義と方法」

講師 今井 博久 氏（東京大学大学院医学系研究科

地域医薬システム学講座 教授）

⑦分科会：

ア 分科会Ⅰ「薬業連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー
病院薬剤師と薬局薬剤師の情報共有

一方向の情報で患者を守るか？～双方向の患者情報共有へ～

講演1 地域包括ケアシステムにおける「地域完結型医療」を進めるために

講演2 外来診療における病院薬剤師の役割

～トレーニングレポートの活用と薬業連携～

講演3 薬局薬剤師と病院薬剤師の連携

～心不全と経口抗がん剤の薬業連携の取り組みについて～

（共催）神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会

イ 分科会Ⅱ「緩和医療での退院支援

～どんな連携ができるか、求められているか～

講演1 緩和医療での退院支援～どんな連携ができるか、求められているか～
病院薬剤師の立場から

講演2 緩和医療での退院支援～どんな連携ができるか、求められているか～
薬局薬剤師の立場から

講演3 緩和医療での退院支援～どんな連携ができるか、求められているか～
医師の立場から

(主催) 神奈川県病院薬剤師会

ウ 分科会Ⅲ「神奈川県薬剤師会創立130周年記念シンポジウム

『薬史学からの令和の薬局・薬剤師のあり方を考える』

講演1 薬史学から医薬分業を知る

講演2 薬局の歴史から

講演3 薬学部の歴史から

(主催) 神奈川県薬剤師会

⑧県民公開講座：ロボットに精通した東京大学 名誉教授
の佐藤知正氏をお招きし、「ロボットの可能性は無限（働く場／役割／その将来）～ロボットは我々の健康生活をどのように変えるか？～」について貴重な講演をいただいた。また、聴講者の7割の方々に講演内容が良かったと前向きな評価をいただいた。（参加500名）

⑨参加費：会 員 事前4,000円、当日5,000円

一 般 事前6,000円、当日7,000円

薬学生 1,000円

⑩作製物：大会ポスター600枚、大会リーフレット8,100枚、
県民公開講座ポスター180枚、県民公開講座リーフレット

8,000枚を作製し、うち県民公開講座のポスター・リーフレット180枚を横浜市内の
小中学校へ配布した。

⑪参加者：合計1,267名（前回1,245名）

※カッコ内は前回の参加者数

ア 神奈川県薬剤師会 : 698名（676名）

イ 神奈川県病院薬剤師会 : 553名（565名）

ウ 薬学生 : 16名（4名）

参加状況一覧



		第18回			第17回		
		会員	一般	計	会員	一般	計
県薬	事前	407	97	504	450	89	539
	当日	74	120	194	80	57	137
	小計	481	217	698	530	146	676
県病薬	事前	387	2	389	413	12	425
	当日	148	16	164	134	6	140
	小計	535	18	553	547	18	565
薬学生	事前		1	1		1	1
	当日		15	15		3	3
	小計		16	16		4	4
合計		1,267			1,245		

⑫会員発表優秀賞：口頭発表（3題）、ポスター発表（3題）

ア 口頭発表（3題）

（ア）薬局薬剤師と病院薬剤師による経口抗がん剤服薬指導研修会の開催
指導均てん化のための副作用評価

磯崎 弘恵 氏（フジ薬局 大学病院前店）

（イ）ビニール薬袋回収を動機付けにした残薬低減の取り組み

石田 順子 氏（株式会社石田薬局）

（ウ）ペランパネルにおける安全性の向上を目的とした院内使用基準の作成とその
有用性に関する検討

小町 和樹 氏（医療法人社団 緑成会 横浜総合病院 薬剤科）

イ ポスター発表（3題）

（ア）臨床検査値を用いた処方鑑査が必要な薬剤への注意喚起による疑義照会内容
変化の調査

石川 春奈 氏（川崎市立多摩病院 薬剤部）

（イ）待機入院患者の休薬指示忘れに関連する新規リスク因子の検討

～PFM面談から得た気づき～ 阿瀬川 実里 氏（横須賀共済病院 薬剤科）

（ウ）薬局薬剤師業務の見える化・見せる化～在宅業務に関する動画作成の試み～

嶋崎 眞義 氏（横浜市中区薬剤師会）

⑬本会からの第18回かながわ薬剤師学術大会参加

同大会へ本会代表発表として、リスクマネジメント委員会、医療・介護保険委員会、地域保健委員会、公衆衛生・学薬委員会の4委員会が口頭発表及びポスター発表を行った。

（2）日本薬剤師会学術大会への参加・発表

令和元年10月13日（日）～14日（月・祝）に第52回日本薬剤師会学術大会が開催され、各委員会が次のとおり発表した。前日に上陸した台風19号の影響により交通機関が大混乱を来し、多くの参加者が影響を受けた。

（第52回日本薬剤師会学術大会）

① テーマ：「原点」

② 会 期：令和元年10月13日（日）～14日（月・祝）

③ 会 場：下関市民会館他

④ 主 催：公益社団法人 日本薬剤師会／一般社団法人 山口県薬剤師会

⑤ 本会委員会の発表：（口頭発表4題）

ア 医療・介護保険委員会

「薬学管理料の効果調査について」

イ リスクマネジメント委員会

「プレアボイド報告の質的評価」

ウ 公衆衛生・学薬委員会

「神奈川県内の学校薬剤師による薬物乱用防止活動実績報告（2018年度）」

エ 地域保健委員会

「セルフメディケーション研修会における参加者の意欲向上に関する調査」

(3) 薬学研究への助成

薬学の進歩発展に資するため、県内の薬剤師が行っている研究に対し、平成24年度より助成金を交付している。対象者は、本会に設置した選考審査会にて審査のうえ、常務理事会において決定した。(1件：255,000円／総額100万円)

募集期間：令和元年5月1日～6月30日

広 報：本会ホームページにて周知

採択内容：かかりつけ薬剤師と慢性疾患を有する高齢患者間のコミュニケーションが患者満足度に与える影響の検討

(4) 臨床薬学研究に関する倫理審査

①倫理審査会では「人を対象とする医学・薬学系研究の倫理審査業務手順書」に基づいて、倫理審査を7件実施した。

②研究倫理に関する研修用DVDの貸し出し

研究者等に必要な研究に関する倫理を研修してもらうため、本会作成DVD「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針と薬剤師の研究について」を、地域薬剤師会または本会委員会を単位として貸し出しをした。

貸し出し件数：3件

(5) 薬学生育成に関する事業

①認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催

実務実習において薬学生への質の高い教育を実践するため、高い教育指導能力を有する認定実務実習指導薬剤師を養成するべく、(一社)薬学教育協議会で承認されたワークショップを病院・薬局実務実習関東地区調整機構共催の補助事業として実施した。

ア 第1・2回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

(東京・千葉・埼玉・神奈川・日本保険薬局協会共催)

日 時：令和元年7月14日(日) 9:00～20:30

令和元年7月15日(月・祝) 9:00～18:00

会 場：帝京大学 板橋キャンパス

受講者：108名(薬局63名：病院33名：大学12名)

イ 第6回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

(東京・長野・神奈川・日本保険薬局協会共催)

日 時：令和元年9月15日(日) 9:00～20:30

令和元年9月16日(月・祝) 9:00～18:00

会 場：帝京平成大学

受講者：80名(薬局54名：病院17名：大学9名)

ウ 第9回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

(東京・茨城・神奈川・日本保険薬局協会共催)

日 時：令和元年11月23日(土・祝) 9:00～20:30

令和元年11月24日(日) 9:00～18:00

会 場：星薬科大学

受講者：81名（薬局54名：病院18名：大学9名）

②第11回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップへのタスクフォース派遣

ア 第11回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

（関東地区調整機構・千葉・埼玉共催）

日 程：令和2年1月12日（日）、13日（月・祝）

会 場：帝京大学 板橋キャンパス

タスクフォース派遣：片山副委員長

③認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップの開催

認定実務実習指導薬剤師の資格を取得後、実務実習の指導にあたった認定実務実習指導薬剤師に、平成31年2月から開始された改訂モデル・コアカリキュラムに基づいた実務実習の新たな考え方への対応やよりよい実習の継続のために、指導方法や問題点の共有、解決を図ることを目的として、（一社）薬学教育協議会で承認されたアドバンスワークショップを病院・薬局実務実習関東地区調整機構共催の補助事業として実施した。

ア 第5回認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ（神奈川）

日 時：令和元年8月4日（日）9:00～17:30

会 場：昭和薬科大学

受講者：28名（薬局18名：病院7名：大学3名）

④「改訂モデル・コアカリキュラム対応 薬局実務実習指導の手引き2018年版」を用いた実習の進め方の説明会の開催

平成31年2月から開始された改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の新たな考え方への対応の一環として、日本薬剤師会編集「改訂モデル・コアカリキュラム対応 薬局実務実習指導の手引き2018年版」を用いた実習の進め方の説明会を実施した。

ア 第1回「改訂モデル・コアカリキュラム対応 薬局実務実習指導の手引き2018年版」を用いた実習の進め方の説明会

日 時：平成31年4月21日（日）10:00～12:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講資格：認定実務実習指導薬剤師

受講者：10名（県薬会員8名：一般2名）

講 師：片山 周也 氏（実務実習委員会副委員長）

イ 第2回「改訂モデル・コアカリキュラム対応 薬局実務実習指導の手引き2018年版」を用いた実習の進め方の説明会

日 時：令和2年2月15日（土）18:30～20:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講資格：（ア）新規に実務実習を受け入れる認定実務実習指導薬剤師

（イ）実習受け入れ薬局の薬剤師

※認定実務実習指導薬剤師以外で指導に携わっている方

受講者：23名（県薬会員15名：一般8名）

講 師：片山 周也 氏（実務実習委員会副委員長）

⑤認定実務実習指導薬剤師養成講習会への委員派遣

神奈川県病院薬剤師会が主催する認定実務実習指導薬剤師養成講習会の開催に協力するため委員を派遣した。

ア 認定実務実習指導薬剤師養成講習会

日 時：令和元年9月29日（日）14:00～18:35

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：123名（県薬会員27名：県病薬会員58名：日病薬会員4名：一般34名）

出席者：木村委員長、石黒委員

⑥認定実務実習指導薬剤師更新講習の開催

認定実務実習指導薬剤師の認定を受けた日から5年以上を経過した者を対象に、認定実務実習指導薬剤師の認定資格更新のための講習会を実施した。

ア 認定実務実習指導薬剤師更新講習会

日 時：令和元年9月29日（日）12:30～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：12名（県薬会員4名：県病薬会員4名：日病薬会員2名：一般2名）

 ⑦神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会の開催

薬局、病院及び大学の更なる連携強化を図るため、意思の疎通や相互理解を深める情報・意見交換の場として実施した。

日 時：令和元年8月22日（木）18:30～20:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・神奈川県薬剤師会における改訂モデル・コアカリキュラムに基づいた実務実習への取り組みについて（「2019年度実務実習実施後アンケート調査結果」から）
- ・神奈川県病院薬剤師会における改訂モデル・コアカリキュラムに基づいた実務実習への取り組みについて（「2018年度病院実習関連アンケート調査結果」から）
- ・意見交換会

出席者：大学15名、県病院薬剤師会6名、県薬剤師会19名

⑧地域薬剤師会実務実習担当者会議の開催

各地域の実務実習担当者に本会事業及び日本薬剤師会や関東地区調整機構からの通知や事業について伝達し、地域の問題点や課題の共有等をするために実施した。

ア 第1回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和元年9月5日（木）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・病院・薬局実務実習の「質の高い事例」に関するご報告のお願い
- ・平成31年度第1回病院・薬局関東地区調整機構委員会総会について
- ・実務実習の受入枠増加のお願い
- ・令和元年度日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議について

- ・神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会について

イ 第2回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和元年12月18日（水）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：

- ・令和元年度「薬局実務実習受入に関する関東地区ブロック会議」について
- ・2019年度実務実習及び来年度に向けての意見交換

㊦（6）新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

薬機法等の制度改正が議論される中、厚労省が「医薬分業に関するとりまとめ」を公表したことなどに鑑み、これからの医薬分業の理念をはじめ、県民・国民に対し責任を果たし得る薬局・薬剤師のあるべき姿について、外部有識者を含むワーキンググループ（WG）を設置して検討した。

- ①WGメンバー（6名）：後藤副会長、佐藤常務理事、久保田理事、塚本理事
玉田 慎二 氏（医薬経済社論説委員）
秋葉 保次 氏（日本薬剤師会相談役）

- ②会議の開催：3回（8/14, 10/9, 1/28, 3/17中止）

2. 児童・生徒等に関する事業

(1) 学校環境衛生管理事業

①神奈川県立学校の環境衛生検査

「学校環境衛生基準」に基づき、神奈川県教育委員会から環境衛生検査機器の貸与を受け、県立学校担当学校薬剤師による検査の利便性向上のために寄与した。

ア 学校環境衛生検査（県立学校全190校（全日制、定時制、通信制、支援学校等））

イ 県立学校室内空気中化学物質濃度検査（シックハウス検査20校）

ウ 県立学校給食調理場定期検査（特別支援学校27校）

エ 神奈川県教育委員会との打ち合わせ会

【新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により中止】

(2) 薬物乱用防止啓発事業の支援

神奈川県からの委託事業として、県内の小・中・高校（公・私立とも）の生徒並びに教職員、PTA等を対象に、学校薬剤師が講師となり薬物乱用防止啓発教室を実施した。

区分	令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
高等学校	13	3,369	14	4,403	13	3,327
一貫校	2	796	－	－	3	1,771
中学校	50	8,089	69	12,706	74	13,029
小学校	159	13,519	169	14,859	153	12,736
PTA等	1	34	1	70	2	72
計	225	25,807	253	32,038	245	30,935

(3) 医薬品適正使用教室の推進

①啓発資材の購入

購入品：薬物乱用防止DVD

購入数：4枚

収載内容：・愛する自分を大切に！ ・薬物乱用はダメ。ゼッタイ。
・身近にひそむ薬物乱用 ・薬物乱用から自分を守る。

(4) 学校保健向上事業

①公衆衛生研修会（学校環境衛生編）の開催

日時：令和元年5月19日（日）14:00～16:30

会場：神奈川県総合薬事保健センター

内容：ア「平成30年度神奈川県立学校環境衛生検査の実施状況報告及び2019年度学校環境衛生検査について」

講師 濱地 優作 氏（公衆衛生・学薬委員会 委員）

イ「学校における空気環境衛生検査」

講師 鬼頭 英明 氏（法政大学 スポーツ健康学部 教授）

②公衆衛生研修会（環境衛生検査技術編）の開催

日 時：令和元年 7 月 28 日（日）10:00～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：ア「学校薬剤師」

講師 金子 弘之 氏（ミツワ薬局）

イ 実習「学校環境衛生実技」

実習進行 神原 大輔 氏（太陽堂薬局）

③学校薬剤師地域担当者会議の開催

日 時：令和元年 5 月 19 日（日）12:00～13:10

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：ア 学校環境衛生検査について

イ 薬物乱用防止啓発事業について

ウ 全国学校保健調査について

エ 意見交換

④全国学校保健調査の実施

今年度も日本薬剤師会が昭和46年度から実施している全国学校保健調査について、地域薬剤師会の協力のもと、神奈川県内調査の取り纏めを行った。

なお、本調査結果は学校環境衛生の維持・管理に資する参考資料として毎年文部科学省へ報告を行っている。

依頼内容：平成30年度の学校給食衛生管理活動について

依頼期間：令和元年 5 月～9 月中旬

対 象：神奈川県内学校薬剤師

報 告 数：1,287件

3. 医薬品適正使用に関する事業

(1) くすりと健康すこやかフェアの開催

県民に対し、健康増進の総合的な推進を図り健康的な体づくりの実践を促進するフェアを関係団体との共催により開催し、医薬品の適正使用の普及啓発に向けたパネル展示や血管年齢測定などの健康度チェック等を実施した。

また、当フェアやイベント等で利活用するため、熱中症・風疹・大麻防止等の啓発パネルを作製、さらに、啓発資材封入のためクリアファイルを作製し配布した。また、本会ブースの一面において、神奈川県栄養士会の協力のもと、栄養相談を実施した。

日 時：令和元年10月17日（木）10:00～16:00

会 場：新都市プラザ（横浜駅東口そごう前広場）

主催団体：神奈川県薬剤師会、神奈川県病院薬剤師会、神奈川県製薬協会、
神奈川県医薬品配置協会、横浜市薬剤師会

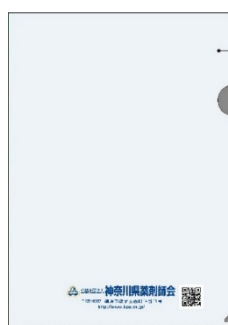
実 施：血管年齢測定（県薬剤師会）	1 台	196 人
脳年齢測定（県薬剤師会）	2 台	165 人
ストレスチェック測定（県薬剤師会）	1 台	120 人
お薬相談（県病院薬剤師会）		52 人
アンケート回収		591 件



チラシ



クリアファイル（表）



（裏）



パネル

(2) 薬と健康の週間事業の支援

厚生労働省及び都道府県等が推進する「薬と健康の週間」(10/17～10/23)において、厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構等が作製のポスター、チラシ、ハンドブックなどを会員薬局及び各地域薬剤師会へ送付し、かかりつけ薬剤師の普及、医薬品の適正使用、セルフメディケーションの推進などの啓発を実施した。

(3) 医薬品適正使用関連事業の推進

①委員会の開催による事業の検討

地域保健委員会において、医薬品適正使用に関する課題を検討し、自主点検等を行った。

また、県医師会、県歯科医師会、県病院協会及び県病院薬剤師会との協議を行う医薬品適正使用検討委員会は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響等から当年度の開催は見送ることとなった。

②新たな医薬品販売制度に関する自主点検調査

医薬品販売制度への理解を深め、法令遵守を含めた地域住民に対する適切なセルフメディケーションのサポートに資する医薬品販売体制を整えることを目的とし、薬壺9・10月号に医薬品販売制度対応に関する自主点検チェックリストを同封、自主点検調査を実施した。

回収率：40.0%（1,006/2,517） 有効回答率：39.7%（999/2,517）

(4) セルフメディケーションの推進

①県民向け啓発グッズの作製

県民に対する「セルフメディケーション」の普及啓発を目的としてグッズを作製、購入し、くすり与健康相談薬局県下一斉相談週間・かながわ薬剤師学術大会他、地域のイベント等で配布した。

ア 絆創膏（6,000 個）



(外装)

イ チラシ

(ア) 地域薬剤師会用（5,000 枚） (イ) くすりと健康相談薬局用（4,500 枚）



(表)

薬局名	
相談会開催日時	
当日、相談したい内容をメモしてお持ちください	

(裏)

ウ ポスター（くすり与健康相談薬局用）



(300枚)

エ 啓発ポスター（会員薬局に配布）

(ア) 10月作製（2,700枚）



(イ) 2月作製（2,500枚）



オ タウンニュース（11/14～16掲載 神奈川県全域 12.3cm×3段）



カ 携帯消毒アルコールジェル（1,900個購入）



②健康測定機器による健康相談の推進

ア 健康測定機器の貸出し

県民のセルフメディケーション推進のため、健康測定機器4機種10台をリース契約にて導入し、地域薬剤師会及び会員薬局に概ね7日間を目途として貸出しを実施した。また、本会が認定する「くすり与健康相談薬局」の推進のため、貸出し機器のうち4機種は優先的に予約受付期間を設けている。

《貸出区分（期間平成31年4月～令和2年3月）》

区分	件数
会員薬局	39
くすりと健康相談薬局	78
地域薬剤師会	21
計	138

《貸出機器及び貸出件数》

機器名	一般貸出	くすりと健康 相談薬局貸出	計
脳年齢・血管年齢・健美瘦チェック器	29	36	65
血管年齢計	25	34	59
骨健康測定器	30	29	59
肺年齢計	13	3	16
血圧計1台	7	2	9
環境放射線モニター2台	1	0	1
計	105	104	209

④ イ 健康測定機器の実例報告

貸し出しを行っている健康測定機器を積極的に活用している薬局の実例を会報誌『薬壺』にて紹介した。

（ア）2019年7・8月号掲載 梶山みつつけ薬局（横浜市鶴見区）

（イ）2019年11・12月号掲載 カワセ薬局本店（横浜市旭区）

（ウ）2020年3・4月号掲載 たから薬局城山店（相模原市緑区）

③ 薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催

薬剤師のセルフメディケーションサポート力を向上させ、薬局薬剤師の職能のより幅広い充実をはかることを目的として研修会を開催した。

ア セルフメディケーション研修会 ～総論編～

「くすりと健康相談薬局」健康サポート力向上研修会

日 時：平成31年4月21日（日） 14:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：（ア）「現代の食事はミネラル不足～新型栄養失調～」

講師 中戸川 貢 氏

（イ）「明日からできるフレイルチェック～フレイルへの理解と予防～」

講師 上出 直人 氏（北里大学医療衛生学部）

イ セルフメディケーション研修会～各論編～

「くすりと健康相談薬局」相談力向上研修会 薬局製剤編

日 時：令和2年2月2日（日） 11:00～17:10

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：(ア)「さあ始めよう！申請書を出して明日から始める薬局製剤」

講師 鈴木 大介 氏(シーガル調剤薬局)・田中 大嗣 氏(田中薬局)

(イ)「地域住民のセルフメディケーションに直ぐに役立つ薬局製剤を

実際に作ろう！」 感冒剤・漢方薬・外用薬(実習)

進行 田中 大嗣 氏(田中薬局)

④セルフメディケーション啓発研修会の開催(地域との共催)

ア セルフメディケーション研修会～各論編～

～OTCの理解促進に関する研修会～(共催 湘南東地域薬剤師会協議会)

日 時：令和元年7月21日(日)13:00～16:30

会 場：藤沢商工会館ミナパーク

内 容：(ア)「来局相談者の容態把握に役立つ方法」

講師 亀井 大輔 氏(昭和大学薬学部)

(イ)「臨床判断とOTCの適正な販売に関する演習」

(スモールグループ・ディスカッション)

進行 鈴木 大介 氏(シーガル調剤薬局)

⑤漢方の理解促進に関する研修会

薬局薬剤師の地域での健康情報拠点としての充実の一環として、漢方薬の理解促進に関する研修会を県民に対して実施した。また薬剤師に対しても漢方の有効な使い方等の知識を向上させる目的で研修会を実施した。

ア 漢方の理解促進に関する研修会 知って得するなるほど!『漢方』《県民向け》

日 時：令和元年11月17日(日)14:30～16:30

会 場：小田急ホテルセンチュリー相模大野「相模野」

内 容：「東洋医学の知識でもっと元気に健康に!エンジョイ漢方ライフ」

講師 菅野 宏一 氏(第一薬局)

受講者数：71名

イ 漢方の理解促進に関する研修会～薬剤師編～

日 時：令和元年12月15日(日)14:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「養生、薬膳、漢方～明日から役に立つ話～リターン」

講師 大草 貴生 氏(大草弘真堂薬局)

⑥医薬品登録販売者継続研修(県医薬品登録販売者協会との共催事業)

昨年度から「医薬品登録販売者継続研修会」に関し、本会会員の属する薬局等の登録販売者に必要な研修を受けられるよう環境整備を行うため、神奈川県医薬品登録販売者協会と業務委託協定書を取り交わし、本研修会を共同開催している。

本研修会は、医薬品医療機器等法に基づく法定義務研修であり、登録販売者を置く薬局開設者に課せられたもので、厚生労働省及び神奈川県の後援にて実施しており、厚生労働省の『登録販売者の資質の向上のための外部研修ガイドライン』に完全準拠したものである。(A講座90分/B講座45分)

今年度は、4回(午後3時間実施/日)実施する予定としていたが、新型コロナウイルス拡大防止のため4回目(3/15)は中止となった。なお、年間に必要な12時

間の研修をクリアできるようDVD研修を企画した。

ア 第1回 全日本医薬品登録販売者協会 生涯学習研修会

日 時：令和元年6月6日（木）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：A講座 「排尿障害」

講師 建林 龍欧 氏（大草製薬株式会社）

B講座 「薬事行政について」

講師 今井 雄一郎 氏（全薬協生涯学習委員）

B講座 「災害時、備えて安心！～美味しく食べても良いんです～」

講師 中野 由希 氏（東邦薬品株式会社）

受講者：98名

イ 第2回 全日本医薬品登録販売者協会 生涯学習研修会

日 時：令和元年10月6日（日）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：A講座 「皮膚の痒み、肌荒れ」

講師 門脇 正浩 氏（ユースキン製薬株式会社）

A講座 「にきび、ふけ」

講師 豊島 英輔 氏（佐藤製薬株式会社）

受講者：93名

ウ 第3回 全日本医薬品登録販売者協会 生涯学習研修会

日 時：令和元年11月20日（水）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：A講座 「咳、痰（熱を伴う場合を除く）」

講師 建林 龍欧 氏（大草製薬株式会社）

B講座 「薬事関係法規・制度、医薬品の適正使用・安全対策」

講師 今井 雄一郎 氏（全薬協生涯学習委員）

B講座 「リスク区分等の変更があった医薬品」

DVD 田辺三菱株式会社 ライオン株式会社

受講者：95名

（5）くすりと健康相談薬局の推進

今年度は、平成28年度の認定薬局が更新時期となり、9月1日付けで更新58件、新規21件、合計79件の薬局を認定し、県内223薬局となった。

申請期間：令和元年5月7日～5月31日

申請薬局数：81薬局

認定薬局：79薬局

認定期間：令和元年9月1日～令和4年8月31日

①認定証交付式の開催

日 時：令和元年9月8日（日）12:00～12:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

参加者：48薬局

②チラシ等啓発グッズの作製・配布

今年度の認定並びに県下一斉相談週間の開催にあたり、次の啓発グッズを作製した。

- ア のぼり（大・小） 各50本《増備》
- イ ウェットティッシュ 10,000個《一部改訂》
- ウ フラッグ 250セット《新規》
- エ シール 10,000枚《一部改訂》



（ウェットティッシュ）



（フラッグ）



（シール）

③県下一斉相談週間の開催

昨年度、認定薬局で日々行っている相談業務を改めて県民にアピールする「県下一斉相談日」を実施したところ、一定の効果が認められたため今年度は「県下一斉相談週間」に拡大して開催した。また、かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準に関する「地域活動証明書」を発行した。（相談実施日1日につき1枚、同一の薬剤師1名につき1枚まで）

日 時：令和元年11月18日（月）～23日（土・祝）

会 場：各認定薬局

事前周知：令和元年11月14日（木）～16日（土）タウンニュース誌に広告掲載
関係グッズの配布：

- ・ポスター（P. 24（4）ウに同じ）
- ・チラシ（P. 23（4）イ（イ）に同じ）
- ・フラッグ（上記②ウに同じ）
- ・絆創膏（P. 23①アに同じ）
- ・マスク（H30作製）
- ・ウェットティッシュ（上記②イに同じ）
- ・シール（上記②エに同じ）

相談件数：1,279件（※認定薬局アンケートに記載の件数より算出）

④会報誌『薬壺』にて認定薬局インタビュー記事を連載するため、取材を行った。

- ア 薬局アポテイク渡内店（藤沢市）2020年1・2月号掲載
- イ 光栄堂薬局（横浜市金沢区）2020年5・6月号掲載

⑤かながわ薬剤師学会でのPR活動

第18回かながわ薬剤師学会において「くすりと健康相談薬局 PR ブース」を設置し、ブース PR チラシを作製、配布し、啓発グッズの配布や薬局クイズ等を通して、薬局関係者には認定取得を、県民には相談薬局の PR 及びセルフメディケーションの啓発活動を実施した。

ブース PR チラシ (200枚)



(6) 薬事情報センターの充実

医薬品・健康保険制度等に関する相談・情報提供として、厚生労働省、日本薬剤師会や製薬メーカー等から新発医薬品や副作用等の情報収集に努め、会員や医師・県民などからの医薬品、化学物質、医療保障制度等の相談に応じ、医薬品の適正使用の推進、薬害の防止などに貢献した。

令和元年度相談件数 911件 (平成30年度相談件数 1,011件)

4. 医療安全に関する事業

(1) 神奈川医療安全推進セミナーへの参画

①神奈川医療安全推進セミナー

今年度、本会が当番幹事団体となり、昨年度と同様に神奈川県・神奈川県医師会・神奈川県病院協会・神奈川県看護協会・神奈川県歯科医師会・神奈川県薬剤師会の計6団体が共催で、同セミナーを次のとおり開催した。

日 時：令和元年10月6日（日）14:00～17:00

会 場：神奈川県総合医療会館

内 容：講演1「わが国の医療安全の歴史を振り返る」

講師 寺崎 仁 氏（東京女子医科大学医学部医療安全科教授）

講演2「新しい医療安全へのアプローチ：

レジリエンス・エンジニアリング」

講師 中島 和江 氏（大阪大学医学部附属病院

中央クオリティマネジメント部教授）

参加者数：232名

②薬剤イベントモニタリング（DEM）事業の実施

日本薬剤師会が実施している標記事業について、会誌（『薬壺』1・2月号）へ協力依頼を同封し、令和2年2月1日～2月29日にかけて事例報告をしていただくよう呼びかけた。

(2) 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業

高齢者は加齢に伴う生理的な変化によって薬物動態や薬物反応が一般成人とは異なることや複数の疾患の治療の為、投与された医薬品同士で薬物相互作用が起こりやすく、医薬品に起因する転倒が問題となりやすい。転倒リスクが高い医薬品（向精神薬等）を中心に、注意喚起の実施、薬局でのポリファーマシーの解消促進及び転倒防止策について広く啓発を図るためのリーフレットを作製した。（150,000枚）



(3) 多重受診防止対策及び偽造処方せん対策の推進

① 多重受診に関する情報の周知

多重受診において、保険者から給付を制限された患者等の情報についてリスクマネジャーを通じて薬局に情報提供することにより再発防止を図った。また、処方箋を偽造して行使した患者情報についても同様に情報提供を行い、再発防止を図った。

ア 多重受診 13件

イ 処方せん偽造 3件

② 多重受診防止啓発ポスターの作製 2,700枚



(4) 高度管理医療機器等継続研修会の開催

医療機器の品質管理などのため、医療機器販売業務の営業管理等に係る研修の受講が毎年必須であることから、本年度後期に日本薬剤師会との共催による研修会を4回にわたり開催した。

日 時：第1回 令和元年10月31日（木）14:00～16:00
第2回 令和元年10月31日（木）18:00～20:00
第3回 令和2年2月16日（日）10:00～12:00
第4回 令和2年2月16日（日）14:00～16:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

参加者数：第1回 183名（会員158名・一般25名）
第2回 189名（会員153名・一般36名）
第3回 181名（会員139名・一般42名）
第4回 182名（会員135名・一般47名）

内 容：・医薬品医療機器等法その他薬事に関する法令について
講師 原田 哲夫 氏（神奈川県薬剤師会元理事）
・最近の高度管理医療機器情報
「在宅経管栄養で使用される製品」について
講師 金井 純子 氏／古道 勝則 氏
（株式会社 ジェイ・エム・エス）

(5) 薬害関連資料収集検討

薬害の縮減など安全な社会づくりのため、またこれまでの薬害事例に学ぶことは重要であるとして過去の薬害を振り返るため、薬壺に次のとおり連載し、パネルを作製した。

・薬壺7・8月号 薬害の歴史について（第6回）クロロキン網膜症事件

5. 公衆衛生に関する事業

(1) 献血事業への協力・推進

献血事業を推進するため、日本赤十字社に協力し、かながわ薬剤師学会大会会場内を巡回し、プラカードや声掛けで若年層に献血の大切さを積極的に周知した。

(第18回かながわ薬剤師学会大会)

日 時：令和2年1月12日（日）9:00～16:40

会 場：パシフィコ横浜・会議センター

協力者数：117名（受付161名）

(2) 薬物乱用防止の啓発

①街頭キャンペーン

ア 令和元年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

日 時：令和元年7月8日（月）15:30～16:15

会 場：新都市プラザ（横浜駅東口そごう前広場）

主 催：神奈川県、薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県薬剤師会

イ 令和元年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン

日 時：令和2年1月13日（月・祝）11:20～12:30

会 場：新横浜駅北口 東口広場

主 催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県薬剤師会

②危険ドラッグ啓発グッズ等作製・購入

ア 啓発グッズの作製

作製物：カイロ

作製数：7,000個

配布先：くすりと健康すこやかフェア、
薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン、
かながわ薬剤師学会大会

③アンチドーピング対策

アンチドーピング活動推進のため、スポー

ツファーマシスト推進担当者等への最新情報の提供及び地域薬剤師会へ情報提供の一環として、日本薬剤師会発行「薬剤師のためのアンチドーピング・ガイドブック2019年版」購入の取り纏めを行い、スポーツファーマシストの知識向上を図った。



(3) 公衆衛生向上事業

①栄養研修会

的確な栄養指導等、来局者への健康管理に貢献するため、栄養の考え方の基礎知識を習得し、職能の向上を図るべく栄養研修会を開催した。

日 時：令和元年6月2日（日）14:00～16:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：高齢者の低栄養・フレイルとその対応

講師 五味 郁子 氏（神奈川県立保健福祉大学栄養学科）

②公衆衛生研修会

患者の健康管理に貢献するため、薬剤師職能の向上を図る研修会として、また、更なる衛生意識の向上を促すため県民も参加可能な研修会として開催した。

日 時：ア 令和元年8月25日（日）14:00～16:00

イ 令和元年11月10日（日）14:00～16:10

ウ 令和2年3月1日（日）14:00～16:10【中止】

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：ア 『OPQRSTを斬る』マストな問診・潜むピットフォール

イ 「さっそく“炎症”についてホンキで考えてみる」

講師 高橋 良 氏（昭和大学リウマチ膠原病内科）



③新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

令和元年12月に中国・武漢市を中心に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、短期間で全世界に広まり、日本においては令和2年1月15日に国内最初の感染例が報告された。

また、2月3日に横浜港に到着したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の乗客に感染者がいたことから検疫のために停泊することとなった。

本会にあつては、厚生労働省からの依頼を受けた日本薬剤師会からの依頼により、2月8日～2月23日にかけて同船の乗客・乗員から要請のあった服用薬について厚生労働省職員のもとで患者ごとに仕分けする業務を、横浜検疫所並びに大黒ふ頭客船ターミナルにて実施した。

実施にあたっては、本会役員・委員をはじめHPでの募集に応じていただいた方々まで、延べ106名にご協力をいただいた。概要は次のとおり。

ア ダイヤモンド・プリンセス号に対する対応について

日 付	事 項	業務場所等	派遣人数
2/7(金)	深夜、日薬・山本会長より鶴飼会長宛に協力要請。		
2/8(土)	昼頃より、本会役員・委員、横浜市薬剤師会協力者にて対応。	横浜第2港湾合同庁舎 8階会議室	11
2/9(日)	午前中より、本会役員・委員、横浜市薬剤師会協力者にて対応。	横浜第2港湾合同庁舎 8階会議室	9
2/10(月)	午後より、本会役員・委員、横浜市薬剤師会協力者にて対応。	横浜第2港湾合同庁舎 8階会議室	23
2/11(火)	午前中より、本会役員・委員、横浜市薬剤師会協力者にて対応。	横浜第2港湾合同庁舎 8階会議室	4
2/12(水)	午前中より、本会役員・委員、横浜市薬剤師会協力者にて対応。 午後、地域薬剤師会及び本会各種委員会に協力依	横浜第2港湾合同庁舎 8階会議室	22

日 付	事 項	業務場所等	派遣人数
	頼。またHPにて協力者募集。 夕方、業務地変更連絡。HP募集停止。 夜、地域薬剤師会及び本会各種委員会に変更協力 依頼。		
2/13(木)	午後より、本会役員・委員、HP応募者にて対 応。 午後、地域薬剤師会及び本会各種委員会に募集終 了連絡。夕方、員数変更連絡。	大黒ふ頭客船ターミナル	7
2/14(金)	午後より、本会役員・委員、HP応募者にて対 応。 夕方、週末の対応取り止め連絡。	大黒ふ頭客船ターミナル	3
2/15(土)	対応なし	対応なし	0
2/16(日)	対応なし	対応なし	0
2/17(月)	午後より、本会役員・委員、HP応募者にて対 応。 夕方、員数変更連絡。	大黒ふ頭客船ターミナル	3
2/18(火)	午後より、本会役員・委員、HP応募者にて対 応。	大黒ふ頭客船ターミナル	6
2/19(水)	午後より、本会役員・委員、HP応募者にて対 応。 夕方、員数変更連絡。	大黒ふ頭客船ターミナル	6
2/20(木)	午後より、本会役員・委員、HP応募者にて対 応。	大黒ふ頭客船ターミナル	3
2/21(金)	午後より、本会役員・委員、HP応募者にて対 応。	大黒ふ頭客船ターミナル	3
2/22(土)	午後より、本会役員・委員、HP応募者にて対 応。 深夜、2/23 で終了連絡。	大黒ふ頭客船ターミナル	3
2/23(日)	午後より、本会役員・委員、HP応募者にて対 応。 大黒ふ頭作業終了。撤収。	大黒ふ頭客船ターミナル	3
延べ人数			106

イ 研修会等の中止について

感染の拡大防止の観点から、2月23日以降の研修会を中止・延期した。

また2月26日に安倍総理による外出自粛要請があった後は、3月8日に予定されていた臨時総会をはじめ、原則としてすべての会議・委員会を中止した。(各項目に掲載)

(4) かながわ健康財団等事業への参画

薬業団体のみならず他業種の団体等と共に事業に協力することで、県民に対して様々な啓発活動を行った。

①薬物クリーンかながわ推進会議

ア 令和元年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン ((2)①に同じ)

イ 令和元年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン ((2)②に同じ)

②かながわ青少年社会環境健全化推進会議

社会環境健全化推進街頭キャンペーンへ参加した。

ア 横浜会場

日 時：令和元年7月13日(土) 16:00～18:00

会 場：日産スタジアム東ゲート前広場(試合前イベント会場)

主 催：かながわ青少年社会環境健全化推進会議、神奈川県子ども・青少年みらい本部、横浜市

参加者：金丸 公衆衛生・学薬委員会委員

イ 川崎会場

日 時：令和元年7月27日(土) 16:30～18:30

会 場：等々力陸上競技場1階 ホーム側コンコース

主 催：かながわ青少年社会環境健全化推進会議、神奈川県子ども・青少年みらい本部、川崎市

参加者：唐澤常務理事

ウ 川崎会場

日 時：令和元年11月20日(水) 17:00～18:30

会 場：JR川崎駅東口駅前広場

主 催：かながわ青少年社会環境健全化推進会議、神奈川県子ども・青少年みらい本部、川崎市

参加者：石渡理事

エ 横浜会場

日 時：令和元年12月7日(土) 12:00～14:00

会 場：新横浜駅北口ペDESTリアンデッキ

主 催：かながわ青少年社会環境健全化推進会議、神奈川県子ども・青少年みらい本部、横浜市

参加者：神原 公衆衛生・学薬委員会委員長

③健康チャレンジフェアかながわ2019

日 時：令和元年11月30日(土)

会 場：クィーンズサークル(横浜市西区)

主 催：公益財団法人かながわ健康財団

6. 地域医療に関する事業

(1) 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進

県民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれる背景を受けて、医療・介護・住まい・生活支援が一体的に提供される「在宅医療」、地域における医療・介護の関係機関と連携して、包括的かつ継続的に提供される事業を行っている。

①薬剤師向け支援事業

ア 在宅医療推進研修会の開催

(ア) 在宅医療研修会～在宅中心静脈栄養法 完全攻略～（相模原）

共 催：相模原市薬剤師会

日 時：令和元年7月18日（木）19:30～21:00

会 場：相模原市総合保健医療センター

内 容：「在宅中心静脈栄養法完全攻略～保険薬局における輸液・注射剤の知識～」

講師 野田 和多流 氏（かもめ薬局北里健康館）

(イ) 第1回薬局薬剤師研修会

日 時：令和元年8月3日（土）18:30～20:10

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「薬剤師が知っておきたい がん薬物治療の知識」

講師 太田 一郎 氏（横浜市立大学附属病院 薬剤部）

「医薬品医療機器等法改正について」

講師 野田 和多流 氏（かもめ薬局 北里健康館）

(ウ) 在宅医療研修会～いまさら聞けない在宅医療のいろはのイ（入門編）～（厚木）

共 催：厚木薬剤師会

日 時：令和元年9月19日（木）19:30～21:00

会 場：アミューあつぎ

内 容：「いまさら聞けない在宅医療のいろはのイ（入門編）」

講師 松崎 裕子 氏（なかよし薬局）

(エ) 在宅医療研修会～在宅中心静脈栄養法 完全攻略～（横浜）

共 催：横浜市薬剤師会

日 時：令和元年10月19日（土）19:00～20:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「在宅中心静脈栄養法完全攻略～保険薬局における輸液・注射剤の知識～」

講師 野田 和多流 氏（かもめ薬局北里健康館）

(オ) 在宅医療研修会～いまさら聞けない在宅医療のいろはのイ（入門編）～（小田原）

共 催：小田原薬剤師会

日 時：令和元年11月8日（金）19:30～21:00

会 場：生きがいふれあいセンターいそしぎ

内 容：「いまさら聞けない在宅医療のいろはのイ（入門編）」

講師 小林 弘忠 氏（サガミ薬局）

（カ）在宅医療研修会（主催）

日 時：令和元年12月8日（日）14:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：演題1 てんかんの基礎知識と抗てんかん薬の選択

講師 後藤 知英 氏（神奈川県立こども医療センター 神経内科）

演題2 てんかん治療薬の特徴と神経内科患者への服薬支援

講師 浅井 翔子 氏（神奈川県立こども医療センター 薬剤科）

（SGD）「医療的ケアを必要とする子どもと家族へのかかわり、
今後の課題を考える」～小児神経疾患は基幹病院に通院、定期的な健康管理は在宅支援診療所の往診を受けているケース～

（キ）在宅医療研修会～在宅中心静脈栄養法 完全攻略～（川崎）

共 催：川崎市薬剤師会

日 時：令和2年2月6日（木）19:30～21:00

会 場：川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）

内 容：「在宅中心静脈栄養法完全攻略～保険薬局における輸液・注射剤の知識～」

講師 野田 和多流 氏（かもめ薬局北里健康館）

イ 服薬フォローアップ強化プロジェクト事業

薬局内での服薬指導や在宅での服薬状況の確認を薬局の薬剤師が、薬剤交付時以外にも、患者に対して、必要な服薬状況の把握や薬学的知見に基づく指導を行うことを通じ、患者に服薬フォローアップの必要性を実感し、患者への適切なアプローチができた好事例や課題を収集する「かながわ服薬フォローアップ強化プロジェクト」事業を、県からの委託により実施した。

（ア）事業説明会の開催

日 時：令和元年7月30日（火）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

（イ）事業リーフレット及び記録様式等作成

（ウ）パネルディスカッションの開催

日 時：令和元年12月3日（火）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター 1階多目的ホール

内 容：・かながわ服薬フォローアップ強化プロジェクト 好事例の紹介

・多職種を交えたパネルディスカッション

「服薬フォローアップを患者治療につなげるための連携について」

《ファシリテーター》伊藤 啓（神奈川県薬剤師会 常務理事）

《パネラー》

日下部 明彦 氏〈医師〉（公立大学法人横浜市立大学 准教授）

真間 あけみ 氏〈訪問看護師〉

（一般社団法人神奈川県訪問看護ステーション協議会 副会長）

松川 竜也 氏〈介護支援専門員〉

(一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会 副理事長)

片山 周也 氏〈薬局薬剤師〉(ひかり薬局)

(エ) 服薬フォローアップに関するアンケート調査

事前調査：令和元年11月11日～令和元年11月29日

事後調査：令和元年12月12日～令和2年2月14日

集 計：令和元年12月12日～令和2年3月19日

(オ) モデル事業事例集及び記録様式等の作成

②在宅医療・介護連携を行う多職種機関への支援事業

在宅医療支援薬局リスト等の作製

作製数：2,900冊

登録薬局数：713薬局（令和元年7月現在の申請薬局）

配布先：主に在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション等

配布時期：令和元年9月下旬～10月上旬



③認知症対応力向上研修会の開催

日 時：令和元年9月8日（日） 14:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「横須賀の認知症施策

～認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して～」

講師 川田 貴久江 氏（横須賀市 高齢福祉課）

「若年性認知症支援コーディネーターからの情報提供」

講師 古屋 富士子 氏（独立行政法人国立病院機構

久里浜医療センター 看護師）

「運転免許行政における高齢運転者交通事故防止対策」

講師 星野 雅彦 氏（神奈川県警察本部交通部運転免許本部運転教育課）

「認知症診療における多職種連携の重要性

～認知症初期集中支援チームの活動から学んだこと～」

講師 渡部 廣行 氏（神奈川県内科医学会 認知症対策委員会 委員長）

④お薬に関する出前講座への講師派遣

医薬品の正しい使い方や副作用が出たときの対応など、お薬全般について分かりやすく話をする「お薬の基礎知識に関する出前講座」を、神奈川県から依頼を受け講師派遣を行い、県民へ医薬品に関する正しい知識を普及させ、医薬品の適正使用を促進するとともに、後発医薬品の品質や安全性について周知することで後発医薬品の使用促進を図った。

派 遣 先：26団体30件

派遣人数：30名

参加者数：909名

⑤神奈川県介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修への協力

神奈川県が主催する神奈川県介護支援専門員研修において、本会の推薦により派遣された医療・介護保険委員会委員が、専門研修課程の一部を担当し、介護支援専門員の育成に協力した。

〈派遣先機関及び回数〉

ア 健康推進財団：4回（7/17、7/23、12/13、12/17）

イ 合同会社 介護の未来：1回（11/6）

ウ （合同開催）神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、川崎市社会福祉協議会：1回（10/16）

エ 学校法人 西田学園：1回（12/2）

（2）薬・薬連携の強化と相互の資質向上

①神奈川県病院薬剤師会との合同研修会の開催

（第18回かながわ薬剤師学術大会分科会Ⅰとして実施）

ア 薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会との合同セミナー

病院薬剤師と薬局薬剤師の情報共有 一方向の情報で患者を守れるか？

～双方向の患者情報共有～

日 時：令和2年1月20日（日）14:45～16:15

会 場：パシフィコ横浜・会議センター

内 容：講演1「地域包括ケアシステムにおける「地域完結型医療」を進めるために」

講師 磯部 総一郎 氏

（前厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課長
（現日本薬剤師会会長付））

講演2「外来診療における病院薬剤部の役割～トレーニングレポートの活用と薬薬連携～」

講師 稲葉 健二郎 氏

（社会福祉法人ワゲン福祉会 総合相模更生病院 薬剤部）

講演3「薬局薬剤師と病院薬剤師の連携～心不全と経口抗がん剤の薬薬連携の取り組みについて～」

講師 磯崎 弘恵 氏（フジ薬局大学病院前店）

イ 褥瘡治療薬サミット in かながわ2020

※新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響および受講者の健康・安全面を考慮し、開催を中止した。

日 時：令和2年2月23日（日）9:00～16:50【中止】

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

（3）後発医薬品の使用促進

①県民向け使用促進

厚生労働省及び神奈川県が作製した後発医薬品使用促進に係る県民向けリーフレットをホームページに掲載した。

（4）医薬分業の質的向上

①保険研修会の開催

ア 保険薬剤師のための保険研修会（基礎編）

日 時：令和元年6月9日（日）11:30～13:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「適切な調剤業務・保険請求を行うために」

講師 福嶋 仁 氏（くすりサガミ薬局）

イ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編）

日 時：令和元年6月9日（日）14:00～17:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：（ア）「薬剤服用管理指導簿の効率的な記載方法について」

講師 藤本 直樹 氏（ベルーデ薬局）

（イ）服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成

ウ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編）（川崎）

共 催：川崎市薬剤師会

日 時：令和元年11月10日（日）13:30～16:30

会 場：川崎市総合福祉センター（エポックなかはら）

内 容：（ア）「薬剤服用管理指導簿の効率的な記載方法について」

講師 伊藤 啓 氏（有馬センター薬局）

（イ）服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成

②薬学管理料の効果調査

今期は委員改選があったため、過去の調査についての確認を行うとともに今後の調査内容について検討した。

③オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会

「オンライン診療の適切な実施に関する指針（令和元年7月改訂）」において、緊急避妊に関する診療については、初診からオンライン診療を行うことは許容され得ると示され研修会を企画したが、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響および受講者の健康・安全面を考慮し、開催を断念した。

④保険薬局関連資材の作製

作製内容 残薬啓発ポスター

作製数 3,000枚

配布数 2,500薬局

配布時期 令和元年9月下旬～10月上旬



⑤保険指導薬剤師打合せ会の開催

調剤報酬に関する情報を収集・共有し会員薬局に提供することで適切な保険請求を実施することを目的に開催した。

(5) 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援

外国籍県民や来県外国人が安心・安全に医薬品を適正使用するための支援を本会ホームページに掲載している。

①「外国籍県民のための服薬情報提供文書」及び「外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル」

②「多言語音声翻訳アプリ (VoiceTra)」及び「多言語医療問診票」

(6) 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実

地域薬剤師会及び職域薬剤師会が行う公益目的事業に対し経費の一部を補助し、公益目的事業補助金を交付した。また、先導的事业に対しても、先導的事业委託金を交付した。

①公益目的事業補助金 19地域・職域薬剤師会 交付額 20,811,000円

②先導的事业委託金 2 地域薬剤師会 " 1,560,000円

(7) 健康サポート薬局関連事業の推進

平成28年2月、厚生労働省より、「医薬品医療機器等法施行規則の一部を改正する省令」及び健康サポート薬局の基準告示が公布された。日本薬剤師会と連携のもと、研修事業を実施している。

神奈川県内健康サポート薬局登録数は、106薬局である。(R01/12/27現在)

①健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会B）の開催

日 時：令和元年6月30日（日）13:00～18:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：ア 健康サポート薬局の理念 ～健康情報拠点としての覚悟～

イ 薬局利用者の状態把握と対応（演習） 他

受講者数：56名

②健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会A）の開催

日 時：令和元年12月1日（日）13:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：ア 健康サポート薬局の基本理念《DVD》

イ 健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師

ウ 神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待

エ 多職種や保険者など神奈川県内における取り組み事例 他

受講者数：94名

7. 災害時医療救護活動に関する事業

(1) 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施

各地域薬剤師会の担当者に、災害時優先携帯電話の受信の確認を行った。

日 程：令和元年12月3日～10日

対 象：災害時優先電話保持者78回線

実施方法：災害時優先携帯電話への直接通話

(2) 災害用備蓄品の整備

災害時における災害対策活動を迅速かつ円滑に実施するため、必要な資機材・生活必需品等を会館内に適正配置し、定期的な確認を実施した。

また、会館業務の一環である災害対策用備蓄について、消費期限の経過した備蓄品の補充及び電力確保の強化のための簡易発電機（カセットガスボンベ使用）の整備を実施した。（P.44 災害対策用備蓄品一覧参照）

(3) マニュアルの改訂

大規模災害の発生が懸念されるなか、災害時に薬剤師が被災者の健康を守ること及び被災地の公衆衛生活動に効率的に貢献するために必要な体制や環境を整備することを目的として、災害対策検討委員会においてマニュアルの改訂を検討した。事務手順や支援体制の想定及び復興体制の確立のため議論整理が必要であり、災害時の適正な調剤を維持するため、情報収集体制、指揮命令系統を整備し適切な医薬品等の供給体制へと活かしていくことの検討を継続することとなった。

<災害用備蓄品整備状況>

N0	種 別	内容等 () 内は数量
1	食料品	レトルト食品 白米(414)、五目飯類(1320)
2	厨具用品類	カセットガスコンロ (2)、カセットガスボンベ (495)、鍋 (2)、柄杓 (2)、やかん (2)、スチロール食器(200)
3	寝具類	毛布 (110)、折りたたみ式ベッド寝袋 (43)
4	防寒用品類	保温アルミシート (100)、使い捨てカイロ (300)
5	電灯・ラジオ等	ソーラー懐中電灯 (49)、手回し充電ラジオカセット・ランタン (27)
6	医療用品類	救急キット (43)、サージカルマスク (6,000)、ディスポーザブル手袋 (9,500)、生理用品 (448)、紙パンツ (103)、非常用トイレ (500)
7	機材・工具等	簡易カセットガス発電機 (2)、揚水用手動ポンプ (1)、工具セット (1)、吸水性土嚢 (50)
8	飲料水	ミネラルウォーター (500ml) 600 本
9	生活用品類	生理用品 (448)、紙パンツ (103)、非常用トイレ (500)



(H30-R01 年度整備 簡易発電機 最大出力 900VA)

Ⅱ 法人組織運営に関すること

1. 総会、理事会等開催など

(1) 会議等の開催

①総会、理事会、常務理事会、正副会長会など諸会議を開催した。

②総務委員会（5/8、7/17、9/18、10/30、11/27、1/22）

5月8日の委員会で平成30年度事業報告及び収支決算等についての検討を行った。また昨年度から継続審議となっている新規会員獲得に向けた取り組みについては、6月の通常総会に向けて中間報告をすべく検討案の整理を行なった。

7月17日の委員会では、10月からの消費税増税に伴う会場費及び用紙代等の販売価格変更、駐車場代の見直しを行った。また、新規会員獲得に向けた取り組みについては、入会促進キャンペーンの実施に向け、具体的なスケジュールの組み立てを行った。

9月18日の委員会では令和2年度事業計画・予算編成への取り組みのほか、入会促進キャンペーンの具体的な実施方法・規程案等の検討、問題点等の整理をし、最終案への準備を行った。

10月30日の委員会では令和2年度事業計画及び予算素案の取りまとめを行い、各委員会から申請があった新規事業の内容を確認するとともに、総務委員会から新たに会員への支援事業として、3. 共益事業に「会員の各種手続きに対する支援」を追加提案した。また、公益目的事業補助金の令和2年度交付分から、地域の実績報告をホームページで県民へ公表することを提案した。さらに入会促進キャンペーンの実施に向け、11月地域・職域薬剤師会会長協議会へ説明するための資料を整えた。

11月27日の委員会では令和元年度中間報告の確認及び令和2年度事業計画及び予算原案について調整をし、委員長会議に向けて、新規事業である「県民向けPR媒体の検討」を他の事業と結び合わせられるよう検討した。

1月22日の委員会では令和2年度事業計画及び予算の最終案について文言整理及び確認を行ったほか、令和2年9月からの入会促進キャンペーン実施にむけ、最終案を常務理事会へ提出するための資料を確定させた。また、入会促進の一環として令和2年度新規事業として挙げている就労支援事業についても、薬学生の就労環境、及び現況の就職説明会等の情報共有を行った。

③総会議事運営委員会（4/25、1/23）

「議事運営委員会運営要綱」に基づき、通常総会並びに臨時総会の運営について協議した。なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により臨時総会が中止となった際には、メールにより緊急開催しその対応を協議した。

④神奈川県三師会役員連絡協議会

今年度は、歯科医師会が当番となり次のとおり開催した。出席者は、医師会19名、歯科医師会23名、本会20名の合計62名であった。

開催日：令和元年11月12日（火）

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

協 議：〔テーマ〕今後の神奈川県三師会の連携について

ー顔の見える連携を目指す三師会の取り組みー

ア「糖尿病の包括的管理の重要性ー超高齢社会における合併症発症抑制と重症化予防ー」

川田 剛裕 氏（公益社団法人神奈川県医師会理事）

イ「偽造処方箋、多重受診の対応リスクマネジメント委員会の取り組み」

伊藤 啓 氏（公益社団法人神奈川県薬剤師会常務理事）

ウ「地域包括ケア体制における三師関連事業～在宅歯科医療連携拠点事業と課題」

堀 真治 氏（一般社団法人神奈川県歯科医師会常務理事）

⑤保険者との意見交換会

日 時：令和元年11月26日（火）16:00～17:00

会 場：ホテル横浜ガーデン

内 容：ア 「令和元年度神奈川県薬剤師会との情報交換」

発表者 木村 文裕 氏（健康保険組合連合会神奈川連合会会長）

イ 「偽造処方箋・多重受診について」

発表者 伊藤 啓（神奈川県薬剤師会常務理事）

出席者：健康保険組合連合会神奈川連合会 7 名、神奈川県薬剤師会 8 名

⑥神奈川県薬剤師会会長賞及び有功賞の受賞者表彰式・日本薬剤師会有功賞

伝達表彰式・各賞受賞者祝賀会

日 時：令和 2 年 1 月 12 日（日） 12:00～13:30

会 場：パシフィコ横浜・会議センター

参 加：32名（内受賞者18名）



（2）公益法人制度への対応

①書類の提出

公益社団法人としての定期提出書類「平成30年度事業報告等」・「令和 2 年度事業計画等」を神奈川県公益法人認定委員会へ提出した。

2. 組織強化と財務の健全化

(1) 創立130周年記念事業

本会は今年度（令和2年2月23日）に創立130周年を迎えた。

①記念誌の作製

本会の歴史を次世代に伝え、改めて薬剤師・薬局のあるべき姿を探るべく薬史学等の学識者を含むワーキンググループ（WG）を設置し記念誌を作製した。

・WGメンバー（7名）：後藤副会長、伊藤常務理事、井上理事、村瀬有功会員、高橋 広報出版委員会委員、

天野 日本薬史学会評議員、益山 東京薬科大学教授

・打合せ会議の開催：5回（5/20、8/7、9/10、10/24、12/6）

・記念誌資料の収集：内藤くすり記念博物館の調査（7/21）

②記念座談会の開催

『次世代の薬剤師及び薬局について』と題し、患者や日本の医療のために薬剤師が変わっていかなければならない必要性や国民から信頼される薬剤師になるよう薬剤師会からもメッセージを発信することなど、厳しくも暖かい意見をいただいた。

開催日：令和元年8月29日（木）

司 会：高橋 洋一 氏

座談会メンバー（5名）：

- ・安川 孝志 氏（厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課 企画官）
- ・益山 光一 氏（東京薬科大学薬学部 医療薬物薬学科 教授）
- ・山口 育子 氏（認定NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長）
- ・鵜飼 典男（神奈川県薬剤師会 会長）
- ・後藤 知良（神奈川県薬剤師会 担当副会長）



前列左より、益山氏、山口氏、安川氏。後列左より、高橋氏、鵜飼会長、後藤副会長

③記念シンポジウムの開催

薬機法改正を踏まえ、薬剤師職能の進展にあたっては、「医薬分業」の課題を、薬史学から振り返り、これからの令和の時代の薬局薬剤師はどうあるべきか、課題は何かなど、故きを温ねて新しきを知り、その内容を会場の先生方も交え議論した。

第18回かながわ薬剤師学術大会分科会Ⅲにて開催

開催日：令和2年1月12日（日）14:45～16:15

会 場：パシフィコ横浜・会議センター

司 会：伊藤常務理事

シンポジスト及び基調発言：

- ・天野 宏 氏（日本薬史学会評議員）
「薬史学から医薬分業を知る」
- ・高橋 洋一 氏（東邦大学薬学部非常勤講師）
「薬局の歴史から」
- ・益山 光一 氏（東京薬科大学 薬事関係法規研究室 教授）
「薬学部の歴史から」



④記念懇親会「次世代の薬局・薬剤師について語り合う会」の開催

歴史を刻んできた先人たちに敬意を表するとともに、全国的にも早く組織化した本会の歴史を再度学び、これからの薬剤師会のあり方を考え、次世代の薬局・薬剤師の未来へと繋いでいくことを目的に、「次世代の薬局・薬剤師について語り合う会」を開催した。

開催日：令和2年2月24日（月・休）

会 場：ホテルニューグランド

参 加：118名



⑦会旗の作製

130周年を記念して刺繍旗を作製した。(70×100cm)



3. 会員管理

(1) 会員管理

- ①入会申請に係る入会審査は49回実施し、330名を承認した。(前年度：334名)
- ②会員規程で定めた手続きにより、会員の登録を行った。
- ③日本薬剤師会へ会員の異動データを作成し報告した。
- ④薬剤師賠償責任保険加入手続きに伴う日薬からの会員登録確認に対応した。
- ⑤『薬壺』5・6月号より、新規入会会員の氏名、所属、所属所在地を、本人の承諾が得られた場合に掲載することとした。
- ⑥会員管理システムの修正を行った。

(2) 県薬会費・公益法人運営特別会費の請求業務

- ①県薬会費・公益法人運営特別会費及び日薬会費の請求書送付
 - ・口座振替1回(6月)
 - ・コンビニ収納等による会費等の請求3回(8月・1月・3月)
- ②令和元年度公益法人特別会費及び保険薬局分担金のランク申告調査を実施した。
 - ・会員薬局2,422件、非会員薬局2,758件(令和元年10月～令和2年3月)
- ③会費未納者及び行方不明者について規定に沿って会員資格喪失者の処理を行った。

(3) 入会の促進

- ①総務委員会において、新規会員獲得に向けた事業の検討を行った。
- ②非会員の保険薬局に対し保険薬局分担金の納入を依頼し、趣旨に賛同し納入していただいた薬局100件に謝礼として薬壺1年分を送付するとともに、入会勧誘を行った。

(4) 会員サービス等業務

- ①薬局・医薬品販売業、医薬品製造業・製造販売業、毒劇登録業、高度管理医療機器販売業等の更新申請書を送付した。(令和元年4月～令和2年3月分、203店舗)
- ②薬局医薬品製造業許可者を対象に副作用拠出金・安全対策等拠出金の申告及び納入業務を行った。194件(令和元年6月～9月)

- ③麻薬取扱者免許の継続申請及び令和元年麻薬年間届を所轄保健所へ提出するよう
該当者へ申請書類等を送付した。1,849件（令和元年9月）

（5）日本薬剤師会からの受託事業

- ①日本薬剤師会会費の徴収を行うための事業連携協力に関する覚書を締結した。
②日本薬剤師会会費徴収分を日薬へ送金した。（令和元年8月・令和2年3月）
③日本薬剤師会の会員数を調査し、報告した。（令和元年11月）
④日本薬剤師賠償責任保険（個人情報漏えい保険）、日本薬剤師会薬剤師年金、アンチ・
ドーピング活動保険の加入希望者にパンフレットを送付した。

Ⅲ 共益事業

1. 薬剤師の生涯学習の推進

各種の講座や研修などを開催、薬剤師の皆さまに生涯学習の場を提供し、薬剤師の資質向上を目指すための学習を支援する事業を実施した。

(1) 学習の意欲喚起への支援・普及

- ①各研修会で認定制度の周知等を実施した。
 - ア 研修会場で生涯学習認定制度の説明を行った。
 - イ 研修申請手順書（各研修会配布）の配布を行った。
- ②本会会誌「薬壺」に情報掲載を行った。
- ③本会ホームページに情報掲載を行った。
- ④外部の「薬剤師認定.com」のホームページにも情報掲載を行った。
- ⑤かながわ学術大会ブースで生涯学習認定制度の説明を実施した。

(2) 学習活動への支援

①学習機会の提供

研修事業一覧 〈P. 55 別表 1 参照〉

②研修事業

③認定研修会の開催

開催数：30回（中止4回）（当初開催予定数 34回）

受講者数：2,081名（会員1,770名、一般311名）

《参考：昨年度》2,495名（会員1,987名、一般508名）〈平成31年3月31日現在〉

研修種別		令和元年度 (2019年)	平成30年度 (2018年)	平成29年度 (2017年)	累計
共催 研修	依頼型（地域共催）	9	8	9	26
	提案型（地域共催）	3	10	4	17
	県病薬・病院など	1	2	3	6
本会主催研修		17	17	20	54
認定研修会 開催数計		30	37	36	103

④本会企画研修会

ア 新任薬剤師研修会

日時：令和元年7月7日（日）13:00～16:15

会場：神奈川県総合薬事保健センター

内容：（ア）「リスクマネジメントについて」

講師 石井 泰彦 氏（石井薬局）

（イ）「薬剤師の倫理」

講師 三澤 喜彦 氏（ファーマシー丸山台）

（ウ）「適正な保険請求（算定要件）について」

講師 福嶋 仁 氏 (くすりサガミ薬局)

(エ) 「法的根拠から考える「薬局がしなくてはならない事・してはならない事」」

講師 大岡 元 氏 (大岡薬局)

イ 薬局開設者・管理者が受けるべき研修会～倫理研修～

日 時：令和元年12月14日 (土) 15:00～18:05

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：(ア) 薬局開設者・管理者等が遵守すべき法令について

a 「医薬品医療機器等法の規定について」

講師 黒澤 淑子 氏 (神奈川県健康医療局 生活衛生部薬務課)

b 「薬学管理を充実するために」

講師 柳川 忠二 氏 (関東信越厚生局神奈川事務所)

c 「問題のある保険請求について」

講師 阿部 正隆 氏 (国民健康保険診療報酬審査委員)

(イ) 社会から評価される倫理観のある薬局・薬剤師になるためには

a リスクマネジメントの視点から

講師 金 泰烈 氏 (森が丘薬局)

b 医療・介護保険委員が考える倫理観

講師 藤本 直樹 氏 (ブルーデ薬局)

c 地域保健・地域医療に関する視点から

講師 塚本 久美 氏 (ヒロ薬局)

d 総括 高橋 洋一 氏 (日の出薬局)

ウ 第2回倫理研修会－研究倫理－

日 時：令和元年9月29日 (日) 13:30～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「薬局での臨床研究の際に必要な計画書作成時のポイント」

講師 上村 直樹 氏 (東京理科大学薬学部教授)

エ 第2回倫理研修会－薬剤師倫理－

日 時：令和2年2月9日 (日) 13:30～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：(ア) 「身近な事例から薬剤師倫理を考える」

講師 安部 恵 氏 (日本大学薬学部薬剤師教育センター 准教授)

(イ) スモールグループ・ディスカッション (SGD)

オ 0402通知に関する対応研修会

日 時：令和2年2月15日 (土) 18:00～19:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：(ア) 「法規関係の基本的な事項について」

講師 河野 一規 氏 (田辺薬局)

(イ) 「医療安全・取り扱いについて」

講師 福嶋 仁 氏 (くすりサガミ薬局)

⑤共催研修会（依頼型）

ア 第1回倫理研修会－研究倫理－（横浜）

共 催：一般社団法人横浜市薬剤師会

日 時：令和元年7月27日（土）18:00～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：（ア）「薬局での臨床研究の際に必要な計画書作成時のポイント」

講師 上村 直樹 氏（東京理科大学 薬学部 教授）

（イ）スモールグループ・ディスカッション（SGD）

イ 第1回倫理研修会－薬剤師倫理－（相模原）

共 催：公益社団法人相模原市薬剤師会

日 時：令和元年8月25日（日）13:30～16:30

会 場：相模原市総合保健医療センター

内 容：（ア）「新入局薬剤師と経験豊かな薬剤師とのギャップ～倫理観を共有するには～」

講師 鈴木 順子 氏（北里大学 名誉教授）

（イ）スモールグループ・ディスカッション（SGD）

⑥共催研修会（提案型）

ア 第167回 地域薬剤師会セミナー（大和綾瀬薬剤師会）

日 時：令和元年5月23日（木）19:30～21:00

会 場：大和市学校薬剤師検査室

内 容：「薬剤師倫理について」

講師 高橋 洋一 氏（横浜薬科大学 客員教授）

イ 第2回神奈川吸入療法ステップアップセミナー（初・中級）

日 時：令和2年2月8日（土）17:30～20:30

会 場：A P横浜（横浜市西区）

内 容：（ア）気管支喘息・COPDなどの疾患になぜ吸入薬が用いられるのか
－吸入療法の基礎－

（イ）各種デバイスの基本的な取り扱い方及び吸入療法における吸入支援の具体的な方法について

（ウ）患者さんが実際に吸入するビデオを見て、間違い探し

（エ）各種デバイスを用いての実習体験（ロールプレイ）（患者役と説明役）

ウ 糖尿病専門・認定薬剤師養成講習会【中止】

日 時：令和2年2月29日（土）16:00～18:15

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：（ア）「インスリン治療の実際とピットフォール」

講師 駒井 元彦 氏（藤沢市民病院 薬局）

（イ）グループワーク

(3) 学習環境の整備

①生涯研修プロバイダー（認定薬剤師研修制度）の更新

平成29年3月に認証を受けた。その後、事業内容、運営、研修プログラムの質などについて高い評価を受け、1回目の認定更新が承認された。

認証番号 G21

有効期限 令和8年3月9日



②研修会共通アンケート実施

ア 目的 アンケート実施は、研修事業の現状と課題を整理・共有するとともに、「研修事業調整会議」での情報交換・課題討議の素材とすること、各委員会における研修事業の企画時等に参考となる資料作成等を目的に実施した。

イ 対象 認定研修の受講者

ウ 方法 研修会時に配布し、回収している。

エ 時期 研修会の開催日

③令和元年度研修事業調整会議の開催

日 時：令和元年10月3日（木）19:00～20:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

出席委員会：医療・介護保険委員会、公衆衛生・学薬委員会、地域保健委員会、リスクマネジメント委員会、倫理研修委員会、学術大会実行委員会

ア 神奈川県薬剤師会生涯学習認定制度における研修の企画・運営・評価について」

イ 意見交換

ウ 研修事業調整会議事前アンケート実施

④共催研修事業の視察

ア 第167回地域薬剤師会セミナー（大和綾瀬薬剤師会）

イ セルフメディケーション研修会～各論編～（湘南東）

ウ 第2回神奈川吸入療法ステップアップセミナー（初・中級）

エ 糖尿病専門・認定薬剤師養成講習会【中止】

⑤令和2年度の研修事業計画立案調整

（A認定型：本会各委員会が企画・運営する研修事業）

開催予定数20回、会場（地域）神奈川県総合薬事保健センターほか

（B依頼型：本会各委員会が企画し、地域薬剤師会などと共催する研修事業）

開催予定数5回、会場（地域）川崎市中原区、厚木市ほか（予定）

（C提案型：地域薬剤師会などが提案する共催研修事業）

開催予定数7回、会場（地域）横浜市神奈川区・鶴見区、小田原市ほか（予定）

(4) 学習成果の活用への支援

①生涯学習履修認定薬剤師（認定薬剤師）の認定審査会を随時実施している。

②生涯学習認定制度認定者数 8名（新規6名、更新2名）通算36名

(5) 推進体制の整備

①プロバイダー認証制度の運用(薬剤師認定認証機構)

②社員総会 (薬剤師認定認証機構)

ア 定時社員総会

日 時：令和元年6月28日(金) 13:00～16:30

会 場：日本薬学会長井記念館(東京都渋谷区)

出席者：小川副会長

イ 臨時社員総会

日 時：令和元年9月4日(水) 14:00～16:00

会 場：TKP虎ノ門駅前カンファレンスセンター(東京都港区)

出席者：小川副会長

③認定薬剤師認証研修機関協議会

ア 第23回認定薬剤師認証研修機関協議会

日 時：令和元年6月28日(金) 16:30～18:30

会 場：日本薬学会長井記念館(東京都渋谷区)

出席者：小川副会長、竹内常務理事、阿部理事

イ 第24回認定薬剤師認証研修機関協議会

日 時：令和2年1月25日(土) 14:00～17:00

会 場：日本薬学会長井記念館(東京都渋谷区)

出席者：小川副会長、竹内常務理事、阿部理事、久保田理事

別表1

認定研修会 受講者数一覧 令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）

No.	研修名	日程		時間	会場	受講者数		
						総数	会員数	一般数
1	セルフメディケーション研修会～総合編～ 「くすりと健康相談薬局」健康サポート力向上研修会	4月21日	日	14:00-17:30	神奈川県総合薬事保健センター	90	82	8
2	公衆衛生研修会(学校環境衛生編)	5月19日	日	14:00-16:30	神奈川県総合薬事保健センター	49	48	1
3	第167回地域薬剤師会セミナー(大和綾瀬薬剤師会)	5月23日	木	19:30-21:00	大和市学校薬剤師検査室	28	26	2
4	栄養研修会	6月2日	日	14:00-16:00	神奈川県総合薬事保健センター	53	49	4
5	保険薬剤師のための保険研修会「基礎編」	6月9日	日	11:30-13:00	神奈川県総合薬事保健センター	74	37	37
6	保険薬剤師のための保険研修会「実践編」	6月9日	日	14:00-17:00	神奈川県総合薬事保健センター	43	34	9
7	新任薬剤師研修会	7月7日	日	13:00-16:15	神奈川県総合薬事保健センター	26	17	9
8	在宅医療研修会～在宅中心静脈栄養法 完全攻略～	7月18日	木	19:30-21:00	相模原市総合保健医療センター	35	32	3
9	セルフメディケーション研修会～各論編～	7月21日	日	13:00-16:30	藤沢商工会館ミナパーク	36	32	4
10	第1回倫理研修会－研究倫理－	7月27日	土	18:00-21:00	神奈川県総合薬事保健センター	34	34	0
11	公衆衛生研修会(環境衛生検査技術編)	7月28日	日	10:00-13:30	神奈川県総合薬事保健センター	29	27	2
12	第1回薬局薬剤師研修会	8月3日	土	18:30-20:10	神奈川県総合薬事保健センター	36	23	13
13	第1回倫理研修会－薬剤師倫理－	8月25日	日	13:30-16:30	相模原市総合保健医療センター	23	21	2
14	公衆衛生研修会(①/全3回)	8月25日	日	14:00-16:00	神奈川県総合薬事保健センター	35	31	4
15	認知症対応力向上研修会	9月8日	日	14:00-17:30	神奈川県総合薬事保健センター	102	74	28
16	在宅医療研修会 ～いまさら聞けない在宅医療のイロハのイ(入門編)～	9月19日	木	19:30-21:00	アミューあつぎ	27	24	3
17	第2回倫理研修会－研究倫理－	9月29日	日	13:30-16:30	神奈川県総合薬事保健センター	16	15	1
18	在宅医療研修会～在宅中心静脈栄養法完全攻略～	10月19日	土	19:00-20:30	神奈川県総合薬事保健センター	63	54	9
19	在宅医療研修会 ～いまさら聞けない在宅医療のイロハのイ(入門編)～	11月8日	金	19:30-21:00	生きがいふれあいセンターいそしぎ	48	45	3
20	保険薬剤師のための保険研修会(実践編)(川崎)	11月10日	日	13:30-16:30	川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)	69	58	11
21	公衆衛生研修会(②/全3回)	11月10日	日	14:00-16:10	神奈川県総合薬事保健センター	26	24	2
22	在宅医療研修会	12月8日	日	14:00-17:30	神奈川県総合薬事保健センター	63	59	4
23	薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～	12月14日	土	15:00-18:05	神奈川県総合薬事保健センター	69	68	1
24	漢方の理解促進に関する研修会～薬剤師編～	12月15日	日	14:00-17:30	神奈川県総合薬事保健センター	84	57	27
25	かながわ薬剤師学術大会	1月12日	日	09:00-16:40	パシフィコ横浜・会議センター	639	546	93
26	セルフメディケーション研修会～各論編～ 「くすりと健康相談薬局」相談力向上研修会 薬局製剤編	2月2日	日	11:00-17:10	神奈川県総合薬事保健センター	76	74	2
27	在宅医療研修会～在宅中心静脈栄養法 完全攻略～	2月6日	木	19:30-21:00	川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)	61	48	13
28	第2回神奈川吸入療法ステップアップセミナー(初・中級)	2月8日	土	17:30-20:30	AP横浜	38	27	11
29	第2回倫理研修会－薬剤師倫理－	2月9日	日	13:30-16:30	神奈川県総合薬事保健センター	26	25	1
30	0402通知に関する対応研修会	2月15日	土	18:00-19:30	神奈川県総合薬事保健センター	83	79	4
31	褥瘡治療薬サミット in かながわ2020【開催中止】	2月23日	日	09:00-16:50	神奈川県総合薬事保健センター	0	0	0
32	糖尿病専門・認定薬剤師養成講習会【開催中止】	2月29日	土	16:00-18:15	神奈川県総合薬事保健センター	0	0	0
33	公衆衛生研修会(③/全3回)【開催中止】	3月1日	日	14:00-16:10	神奈川県総合薬事保健センター	0	0	0
34	プレアボイド合同研修会【開催中止】	3月5日	木	19:00-21:10	神奈川県総合薬事保健センター	0	0	0
合 計						2,081	1,770	311

2. リスクマネジメントシステムの充実

(1) 薬局プレアボイドの事例収集の実施

薬局プレアボイド事業は、薬物治療において、薬剤師が患者の安全を守るための重要な立場にあり、その業務の「見える化」を図るために極めて有効な事業と考えて事例収集事業を実施した。

(第5回薬局プレアボイド報告キャンペーンの実施)

期 間：令和元年9月1日（日）～9月30日（月）

報告数：161件

(2) プレアボイド合同研修会の開催【中止】

日 時：令和2年3月5日（木）

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：平成30年度プレアボイド報告 優秀事例受賞者講演

①神奈川県病院薬剤師会（3名）

②神奈川県薬剤師会（3名）

古平 圭吾 氏（二俣川薬局）

荒川 有紀子 氏（㈱わかば わかば薬局相模原緑店）

森村 茂 氏（こばやし薬局戸手店）

(3) 2019県下統一調剤事故防止研修会の実施

リスクマネジャーが中心となり、第2回リスクマネジャー会議の内容を地域薬剤師会会員へ周知する研修会を、行政の方の講演も交え、各地域にて開催した。

開催団体：地域薬剤師会 30団体

開催時期：令和元年10月～12月

対 象：会員、地域薬剤師会会員

講習内容：① 偽造処方せん事案取扱い時の留意事項について

② 多重受診対策マニュアルについて

③ 行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注意事項等

総受講者数：1,317名

(4) リスクマネジャー会議の開催

調剤事故等の減少などのため、各地域のリスクマネジャーを集めた会議を年2回開催し、情報交換等を行った。

①第1回 令和元年7月18日（木）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：ア「第5回薬局プレアボイド報告キャンペーンについて」

講師 小島 昌徳 氏（リスクマネジメント委員会委員）

イ「偽造処方箋・多重受診の対応について」

講師 石井 泰彦 氏（リスクマネジメント委員会委員長）

②第2回 令和元年9月19日（木）19:30～21:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：ア「薬物乱用対策について」

講師 茂木 孝円 氏（神奈川県警察本部 薬物銃器対策課 課長補佐）
イ「偽造処方せん事案取扱い時の留意事項について」

講師 田代 雅史 氏（神奈川県警察本部 捜査二課 課長補佐）
ウ「多重受診対策マニュアルについて」

講師 森井 広樹 氏（リスクマネジメント委員会委員）
エ「第5回プレアボイド報告キャンペーンについて」

講師 小島 昌徳 氏（リスクマネジメント委員会委員）

3. 薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険の普及

日本薬剤師会会員を対象として、薬局の有事に備えるため各保険を紹介するべくパンフレット等を配布した。

4. 会誌『薬壺』発行事業

薬学・医学領域に関する情報や医薬品情報、厚生労働省・神奈川県への動向、日本薬剤師会等からの通知、薬業界の話題等を掲載し、薬剤師の学術的資質の向上を促すとともに薬学・薬業の進歩発展に資した。

また、5・6月号より、新規入会会員の会員紹介を、本人の了解のもと掲載することとしたほか、7・8月号より神奈川新聞社によるデザイン・印刷を行っている。

- ・会誌発行：『薬壺』6回発行（隔月奇数月）
- ・会誌配布先：会員、各都道府県薬剤師会、保健センター、薬科大学、新聞社 他
- ・掲載内容等：

発行月	頁数	広報出版委員会企画記事
5・6	80	①第17回かながわ薬剤師学術大会報告（優秀賞紹介等） ②小田原の医業・薬業の歴史（第1回） ③ヘルマン・リッテル余聞（第4回）
7・8	71	①小田原の医業・薬業の歴史（第2回） ②薬害関連収集検討事業 クロロキン網膜症事件 ③ヘルマン・リッテル余聞（第5回） ④新薬紹介
9・10	81	①小田原の医業・薬業の歴史（最終回） ②ヘルマン・リッテル余聞（最終回）
11・12	80	①神奈川県薬剤師会歴代会長インタビュー 「令和の時代に向けて」 ②バイオシミラーについて ③新薬紹介

発行月	頁数	広報出版委員会企画記事
1・2	83	①第52回日本薬剤師会学術大会報告 ②新薬紹介 ③田中英昭名誉会員を偲んで
3・4	85	①台風19号に関する県内被災薬局の対応等について ②第18回かながわ薬剤師学術大会報告（優秀賞紹介等） ③新薬紹介

5. 会員向けホームページ、メールマガジンの充実

ホームページの会員ページにおいて、会議報告、会員への通知、会員向けツール等のダウンロード、学校薬剤師業務関係ファイルを公開し、会員の利便に資する活動を行なったほか、一般ページ・会員ページに共通するバナーを3つ設置し、「くすりと健康相談薬局」・「生涯学習認定制度」及びその時々に応じた事項とすることとした。

また、特にPRしたいページについて、SNS（Facebook）シェアボタンを設置することとし、試行的にくすりと健康相談薬局・かながわ薬剤師学術大会ページに設置した。

メールマガジンについては、研修会案内、調剤報酬改定情報など今年度は47件の情報を配信した。

IV 収益事業

1. 会議室等賃貸業

今年度も、現在契約しているヴェオリア・ジェネッツ(株)（1・5階）及び横浜市薬剤師会等9団体（4階）をはじめ、(株)矢野建築設計事務所（3階305号室）についても引き続き賃貸した。令和元年10月からの消費税増税は経過措置により令和2年3月末まで据え置きとし、令和2年4月より賃貸料の改定を実施予定（各団体承諾済）

また、会議室利用状況については、外部利用の状況が合計524件（前年度比70.1%）であり減少した。＜P.61参照＞

2. 書籍等販売業

薬事関係図書の斡旋販売及び用紙類の販売を行った。＜P.62参照＞

- ・薬事関係図書の斡旋販売：135件（2,330冊）
- ・用紙類の販売：321件（4月～3月）

3. 当保健センターの修繕等

平成13年に開館した当センターの施設維持のため次の修繕等を行った。

- ・5F用エアコン室外機修繕と部品交換（6月）
- ・冷温水発生機2号機部品交換（8月）
- ・自動火災報知設備更新工事・非常放送設備更新工事（8月）
- ・エレベータ・バッテリー交換（9月）
- ・会館1階・2階トイレ水漏れ修繕（1月）
- ・会館トイレウォシュレット便座交換（3月）
- ・冷温水発生機2号機空気漏れ修繕（3月）
- ・1階エントランス・多目的ホール・外非常階段部分、LED入替工事（3月）

神奈川県薬剤師研修協議会事業

1. 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度事業 (神奈川県薬剤師研修協議会)

日本薬剤師研修センターから委託され、研修認定薬剤師制度の認定事務の一部を行なった。

(1) 認定薬剤師申請業務

受付・申請期間 : 平成31年4月～令和2年3月

神奈川県薬剤師研修協議会 受付件数 : 4,166件

日本薬剤師研修センター 申請件数 : 3,819件

(2) 認定薬剤師認定証発送業務

認定証等発送期間 : 平成31年4月～令和2年3月

日本薬剤師研修センター 受付件数 : 3,317件

神奈川県薬剤師研修協議会 発送件数 : 3,317件 (新規 : 865件、更新 : 2,452件)

平成31年4月～令和2年3月会場利用状況

月	部屋	ホール				301号室				302号室				303号室				304号室				306号室				307号室				合計				前年度	
		午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	①	可能回数 ※	率 ①／	計	利用率	
		時間	外部	内部	外部	内部	時間	外部	内部	外部	内部	時間	外部	内部	外部	内部	時間	外部	内部	外部	内部	時間	外部	内部	外部	内部	時間	外部	内部	外部	内部	時間	外部	内部	
4月	外部	3	2	2	7	3	8	3	14	0	1	0	1	4	5	3	12	4	4	3	11	0	0	2	2	2	2	2	6	53	588	9%	44	7%	
	内部	5	5	4	14	0	2	1	3	1	6	5	12	0	0	0	0	0	4	3	4	11	3	4	11	3	3	3	9	49	588	8%	42	7%	
5月	外部	4	4	2	10	2	5	2	9	0	2	0	2	1	2	1	4	1	2	1	4	1	1	2	4	2	1	1	4	37	525	7%	51	8%	
	内部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	5	5	4	14	5	5	4	14	5	5	6	16	5	6	6	17	64	525	12%	11	2%	
6月	外部	3	4	3	10	0	5	1	6	1	0	0	1	3	3	1	7	2	2	1	5	0	1	2	3	0	0	0	0	32	630	5%	71	11%	
	内部	6	6	6	18	3	3	3	9	1	4	3	8	9	9	7	25	9	9	7	25	8	9	9	26	7	9	7	23	134	630	21%	33	5%	
7月	外部	17	17	3	37	0	7	0	7	2	3	2	7	4	5	0	9	4	5	0	9	1	1	0	2	1	2	0	3	74	630	12%	46	7%	
	内部	1	1	5	7	1	1	1	3	0	1	1	2	9	7	7	23	9	7	7	23	5	7	8	20	4	6	6	16	94	630	15%	19	3%	
8月	外部	7	7	2	16	0	4	3	7	0	0	0	0	1	2	2	5	1	2	2	5	0	0	1	1	0	0	0	0	34	651	5%	44	7%	
	内部	0	0	0	0	1	1	2	4	1	3	5	9	3	5	5	13	4	5	5	14	4	7	7	18	11	11	33	91	651	14%	15	2%		
9月	外部	2	2	0	4	1	7	0	8	0	0	0	0	1	3	1	5	1	3	1	5	0	1	1	2	0	1	0	1	25	630	4%	49	8%	
	内部	9	8	9	26	0	1	2	3	3	7	9	19	3	5	5	13	3	5	5	13	3	5	6	14	3	5	5	13	101	630	16%	15	2%	
10月	外部	7	6	2	15	3	6	2	11	0	0	0	0	6	6	0	12	4	6	0	10	2	2	2	6	2	2	1	5	59	651	9%	105	16%	
	内部	3	4	5	12	0	3	4	7	0	2	2	4	0	2	3	5	0	2	3	5	1	8	9	18	0	0	1	1	52	651	8%	20	3%	
11月	外部	7	8	1	16	0	5	0	5	1	1	0	2	5	6	1	12	5	6	1	12	0	1	1	2	0	0	0	0	18	630	8%	68	11%	
	内部	2	3	3	8	0	2	2	4	1	2	3	6	0	2	1	3	0	2	1	3	4	7	7	18	3	4	6	13	55	630	9%	29	5%	
12月	外部	3	3	1	7	0	7	2	9	0	1	0	1	1	3	2	6	1	3	2	6	1	1	3	5	0	1	1	2	36	567	6%	58	10%	
	内部	8	7	9	24	0	1	1	2	1	5	5	11	0	0	1	1	0	0	1	1	1	4	4	9	1	3	7	55	567	10%	59	10%		
1月	外部	12	11	3	26	2	5	3	10	0	1	0	1	2	4	3	9	2	4	3	9	1	2	1	4	0	2	1	3	62	546	11%	76	13%	
	内部	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	7	1	2	4	7	18	546	3%	23	4%	
2月	外部	7	8	1	16	1	5	1	7	1	2	0	3	1	2	4	7	1	2	4	7	0	1	2	3	0	1	0	1	44	609	7%	69	12%	
	内部	3	3	3	9	0	1	0	1	0	2	3	5	4	4	5	13	4	4	5	13	0	2	2	4	0	1	2	3	48	609	8%	69	12%	
3月	外部	1	1	0	2	3	5	1	9	1	1	0	2	1	0	1	2	1	0	1	2	0	0	1	1	0	0	1	1	19	651	3%	67	10%	
	内部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	4	4	651	1%	45	7%	
合計	外部	73	73	20	166	15	69	18	102	6	12	2	20	30	41	19	90	27	39	19	85	6	11	18	35	7	12	7	26	524	7,308	7%	748	10%	
	内部	37	37	44	118	5	15	17	37	9	34	39	82	33	39	38	110	34	39	38	111	36	59	68	163	38	50	56	144	765	7,308	11%	380	5%	

内部は県薬剤師会の利用分です。

※利用可能回数：1日3回(午前・午後・夜間)×7室×その月の日数(年末年始、メンテナンス等を除く)

月	用 紙										幹 旋 書 籍					
	現金		発 送				合 計				件数	冊数	金額	送料	計	幹旋手数料
	件数	金額	件数	金額	送料	計	件数	金額	送料	計						
4月	7	14,490	12	17,340	5,380	22,720	19	31,830	5,380	37,210	4	7	52,840	3,382	56,222	1,774
5月	10	12,976	23	65,450	12,210	77,660	33	78,426	12,210	90,636	2	2	27,730	550	28,280	216
6月	9	21,855	16	29,029	7,820	36,849	25	50,884	7,820	58,704	2	2	9,030	550	9,580	864
7月	12	9,843	23	107,714	10,140	117,854	35	117,557	10,140	127,697	2	3	17,700	1,050	18,750	648
8月	6	8,738	17	72,495	8,189	80,684	23	81,233	8,189	89,422	30	775	2,767,380	5,050	2,772,430	167,724
9月	7	6,394	19	76,045	9,515	85,560	26	82,439	9,515	91,954	7	173	92,920	4,278	97,198	2,808
10月	4	5,940	22	92,290	4,130	96,420	26	98,230	4,130	102,360	1	1	2,100	550	2,650	220
11月	6	19,360	12	24,990	4,400	29,390	18	44,350	4,400	48,750	1	5	8,400	0	8,400	1,100
12月	8	10,010	26	75,240	11,680	86,920	34	85,250	11,680	96,930	1	1	23,560	850	24,410	440
1月	6	6,930	35	100,540	16,210	116,750	41	107,470	16,210	123,680	5	47	244,649	1,760	246,409	14,911
2月	3	3,080	20	68,420	9,680	78,100	23	71,500	9,680	81,180	76	1,298	4,852,827	27,060	4,879,887	247,513
3月	2	2,640	16	46,640	7,870	54,510	18	49,280	7,870	57,150	4	16	67,810	1,100	68,910	38,940
合計	80	122,256	241	776,193	107,224	883,417	321	898,449	107,224	1,005,673	135	2,330	8,166,946	46,180	8,213,126	477,158

平成 31 年度
公益社団法人 神奈川県薬剤師会 事業計画

本年は、我が国において歴史に残る今上天皇陛下の御退位と新天皇陛下の御即位に伴い新元号も改められ新たな時代の幕開けとなる。本会も薬剤師会の草分けとして発起し、設立 130 年を迎える節目の年となることから、薬業の発展に尽力されてきた諸先輩方の英気に劣ることなく英知を結集し本会の事業を展開して行かなければならない。

国においては、医療分野での制度の見直しもスピード感を持って議論をされており、薬機法等の改正も予定される中で薬局・薬剤師を取り巻く環境の変化が予想される。我々は薬剤師の職能団体としてその役割が問われる意味からも、地域医療の担い手として着実な事業運営を図り事業実績を挙げて行かなければならない。

事業の推進に当たっては、これまでに推進してきた「くすりと健康相談薬局」は県民と薬局を橋渡しする重要な施策であり、認定薬局の積極的な周知を図り、いわばセカンドステージとして認定薬局を活用する「県下一斉相談日」を設定するなど県民目線での着実な施策展開を図り、県民に開かれた薬局を目指すこととする。

また、生涯学習認定制度も 2020 年 3 月には薬剤師認定制度認証機構からの認証期限が到来することから、更新の手続きが必要となるため所要の準備を進め、認定薬剤師制度としての充実を図るとともに上質な研修を実施し、多くの薬剤師から期待される制度を目指すこととする。

さらに、薬局・薬剤師が職能を発揮する新たな領域等を見据えた議論を行い、今後の事業に反映するための機会を得ていくこととする。

次に、これまで公益法人運営特別会費については、慎重なる検討の結果が答申として出されていることから答申結果を尊重し、今後の事業運営資金としても有効活用していくこととする。

31 年度は役員・委員ともに改選期になるが、事業の端境期が生じないよう本計画に基づき建設的かつ積極的に事業推進を図ることとする。

平成 31 年度事業体系図

〈大柱〉

〈小柱〉

公 1-1
薬学・薬業の進歩
発展に関する事業

1. かながわ薬剤師学術大会の開催
2. 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表
3. 薬学研究への助成
4. 臨床薬学研究に関する倫理審査
5. 薬学生育成に関する事業
6. (新)新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

公 1-2
児童・生徒等に
関する事業

1. 学校環境衛生管理事業
2. 薬物乱用防止啓発事業の支援
3. 医薬品適正使用教室の推進
4. 学校保健向上事業

公 1-3
医薬品適正使用に
関する事業

1. くすりと健康すこやかフェアの開催
2. 薬と健康の週間事業の支援
3. 医薬品適正使用関連事業の推進
4. セルフメディケーションの推進
5. くすりと健康相談薬局の推進
6. 薬事情報センターの充実

公 1-4
医療安全に関する
事業

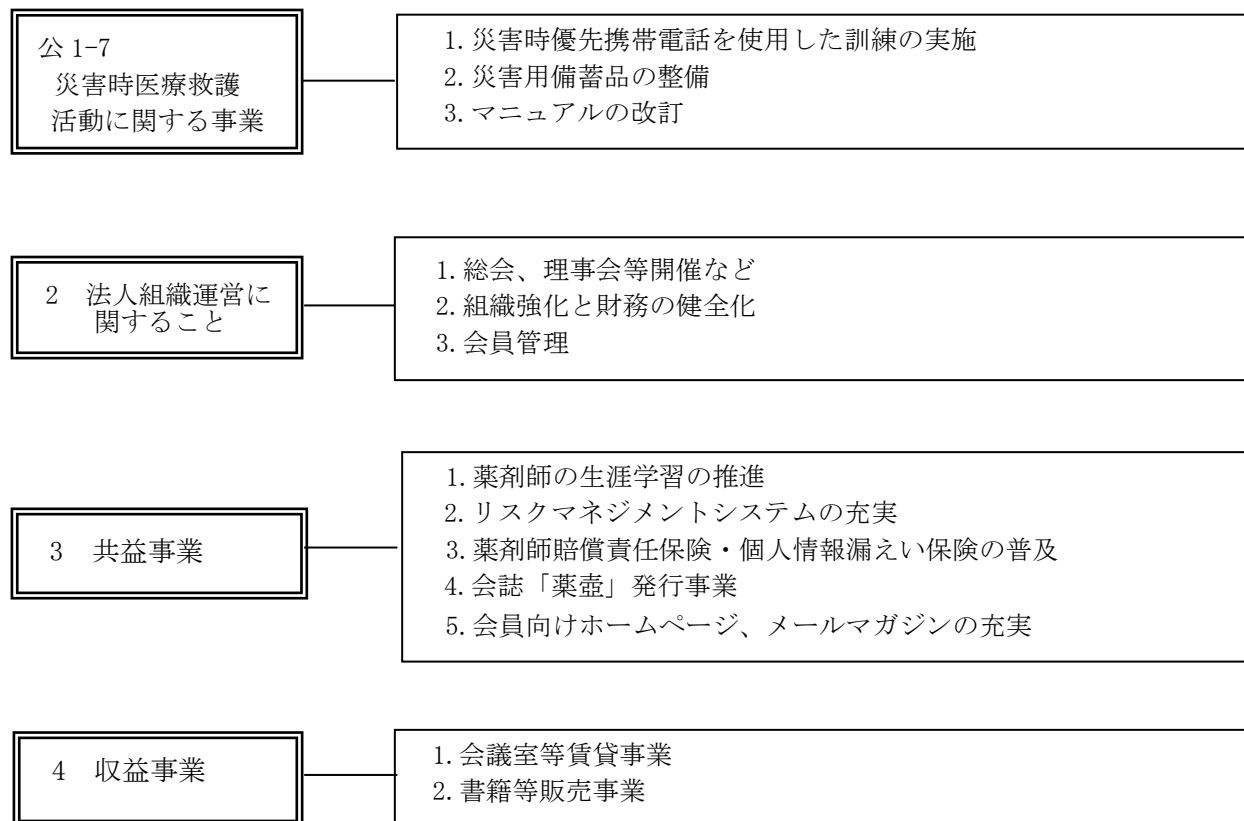
1. 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画
2. 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業
3. 多重受診防止対策及び偽造処方せん対策の推進
4. 高度管理医療機器等継続研修会の開催
5. 薬害関連資料収集検討

公 1-5
公衆衛生に関する
事業

1. 献血事業への協力、推進
2. 薬物乱用防止の啓発
3. 公衆衛生向上事業
4. かながわ健康財団等事業への参画

公 1-6
地域医療に関する
事業

1. 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進
2. 薬・薬連携の強化と相互の資質向上
3. 後発医薬品の使用促進
4. 医薬分業の質的向上
5. 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援
6. 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実
7. 健康サポート薬局関連事業の推進



令和元年度 神奈川県薬剤師会 各種委員会委員一覧

	名 称	担当副会長	担当専務・ 常務理事	担当理事	委 員 (◎委員長 ○副委員長)						担当課
1	総 務	後藤 知良	長津 雅則 寺師三千彦	嶋 元 坂本 悟 泉 紀久恵	前田 成隆 菅野 宏一	荒澤 実 馬瀬 大介	○市川 浩 ◎小宮 賢一	白井 博 熊井 佳子			管理課
2	広報出版	小川 護	伊藤 啓 唐澤 淳子	石渡 宏衛 塚本 久美 伊藤 一	吉川 武寿 ○飯田 京子 菅野 浩	福岡 真 小高 賢一	◎関根 澄江 高橋 洋一	白井 友章 森嶋まつ子			管理課
3	生涯学習	小川 護	竹内 尚子	阿部 正隆 久保田 充明 夏目 善文	◎三澤 喜彦 鈴木 良雄 三溝 和男 杉崎 薫	○笹谷 康子 柿沼 貞之 吉山 友二	友田 健 黒岩 美枝 山村 重雄	馬淵 彰三 小泉 直也 金 龍哲			事業課
4	医療・介護保険	小川 護	長津 雅則 竹内 尚子 佐藤 克哉	阿部 正隆 夏目 善文 稲葉健二郎	◎藤本 直樹 ○福嶋 仁 三浦 健太 小林 弘忠	梶谷 浩義 赤澤美由紀 小林きぬ子 瀧本 淳	○川村 幸久 大岡 元 亀山 俊	河野 一規 野田和多流 松崎 裕子			事業課
5	公衆衛生・学薬	小川 護	唐澤 淳子	山形 光正 石渡 宏衛 伊藤 一	濱地 優作 水野 秀典 大澤佳奈子	○油谷 由美 ◎神原 大輔 渡邊 千括	八木 洋子 小泉 貴子 金子 弘之	○和田 野歩 関根 寿樹 金丸 茂樹			事業課
6	地域保健	後藤 知良	佐藤 克哉 長津 雅則 唐澤 淳子	坂本 悟 夏目 善文 塚本 久美	田中 大嗣 鷲山 毅 市川 和子	○林 直子 ◎大島 崇弘 樋島 学	○堀川 壽代 鈴木 大介 剣持 明子	宇井 敬 三賢 太郎			管理課 事業課
7	リスク マネジメント	橋本 真也	伊藤 啓 佐藤 克哉	嶋 元 菅野 君子 稲葉健二郎	玉井慎一郎 篠田 豪 露木 聡史 小島 昌徳 荒井 俊明	佐伯 達也 森井 広樹 小川 亮子 八木 芳夫	◎石井 泰彦 新田 淳史 三堀賢太郎 原 和夫	星野 高志 ○村上 和宣 太田美智子 金 泰烈			事業課
8	倫理研修	橋本 真也	竹内 尚子	山形 光正 高橋 良二 菅野 君子 久保田 充明	斉藤 美月 安藤 典幸 ○綾部由紀乃 ◎小橋 紀子						管理課
9	学術大会実行	後藤 知良	寺師三千彦 竹内 尚子	井上 雄一 篠達雄 石渡 宏衛	○野村 清司 鈴木 康生	高橋 恵巳 寺仙 智子	塩田 修司 飯倉 裕之	◎中村 正樹 齋藤 邦夫			事業課
10	実務実習	橋本 真也	寺師三千彦	井上 雄一 久保田 充明 篠塚 達雄	永持 健 河野 和宏 上田 知弘 日下部吉男	石川 弓子 黒石 哲夫 駒井 元彦 難波 昭雄	矢野 裕一 大久保敦子 廣原 正宜 婦川 貴博	◎木村久美子 ○片山 周也 栗原 順一 須田 哲史			事業課
11	くすりと健康相談 薬局運営協議会	後藤 知良 小川 護 橋本 真也	長津 雅則 全常務理事	塚本 久美	○黒澤 淑子 高橋 洋一	◎福島 紀子	天野 宏	今井 澄江			管理課
12	災害対策検討	橋本 真也	寺師三千彦 長津 雅則	◎高橋 良二 泉 紀久恵 篠塚 達雄	石井 哲人 石川 弓子 岡田 恒雄	藤原 文子 菅野 宏一 山崎 真弘	大木 昭子 佐藤 怜子 田村 英樹	越田 良仁 金林 茂 劔持 明子			事業課
13	代議員選挙管理	後藤 知良	長津 雅則 唐澤 淳子		吉原 睦子 岡野 克樹 井上 哲男	鈴木 康久 中村 朋子 渡邊 浩一	越田 良仁 小林きぬ子 阿武野晴美	森島 一機 石内 正佳			管理課
14	総会議事運営	後藤 知良	長津 雅則 唐澤 淳子		笹谷 康子 澤田 弘之 渡邊 幸一	石井 泰彦 橋 津義 矢野 光恭	二宮 三嘉 鈴木 大介 樋島 学	◎八鍬 広幸 ○今井 和成			管理課
15	創立130周年 記念事業検討WG	後藤 知良	伊藤 啓	井上 雄一	天野 宏	益山 宏一	◎高橋 洋一	○村瀬 一郎			
16	新しい薬局・薬剤師 のあり方検討WG	後藤 知良	◎佐藤 克哉	久保田 充明 ○塚本 久美	玉田 慎二	秋葉 保次					

敬称略

